MITSUBISHI

三菱DLP®プロジェクター

形名
LVP-HC1100

取扱説明書

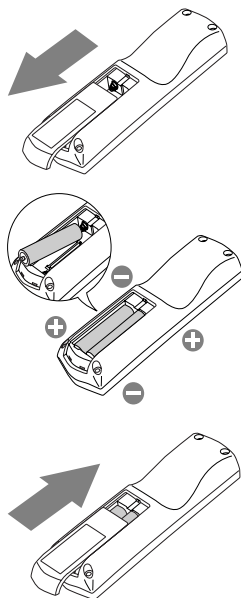
このたびは三菱DLP®プロジェクターをお買上げいただきありがとうございました。
ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要なときお読みください。
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、お買上げの販売店からお受け取りください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

付属品を確認する・リモコンに乾電池を入れる

付属品を確認する（このプロジェクターには次の付属品があります。そろっているかどうか確認してください。）

・レンズキャップ(本体に付属)
・取扱説明書
・クイックスタートアップ
・保証書

● 付属の電源コード・変換アダプタは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

リモコンに乾電池を入れる

1 リモコン裏面のフタをはずす

2 乾電池の(＋)、(－)をよく確かめて、(－)側から正しく入れる

● 乾電池を（＋）側から入れると、（－）側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れ、ショートして発熱する恐れがあります。

3 裏面のフタを付ける

● 乾電池は、単四乾電池（R03）を2本お使いください。
● リモコンを使用できる距離が短くなってきたら、2本とも新しい乾電池に交換してください。

⚠注意

●電池は、7ページに記載している「乾電池の取り扱いについて」を良く読んで、正しくお使いください。使用を誤ると液もれや発熱、破裂により、火災やけが、周囲の汚損の原因となることがあります（電池に表示されている注意事項もお読みください）。
●このプロジェクターはプラグ接続機器です。機器の近くにコンセントがあり、かつそのコンセントには、容易にアクセスできなければなりません。
●本機には付属の電源コードをご使用ください。付属以外の電源コードを使用すると、ラジオやテレビの放送電波障害の原因となることがあります。
●J55022 クラス B装置の規制範囲内に干渉を抑えるため、付属のRGB信号ケーブルとRS-232Cケーブルをご使用ください。
●本機は必ず接地してください。

もくじ

商標および著作権について

安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください	絶対に分解・修理はしないでください	絶対に触れないでください	絶対に水にぬらさないでください
絶対にぬれた手で触れないでください	絶対に水場では使用しないでください	必ず指示に従い、行ってください	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください

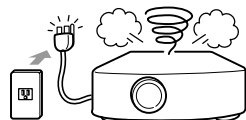
⚠ 警告

故障したまま使用しない

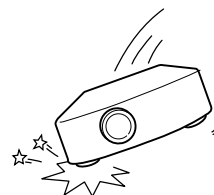
万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

プラグを抜く

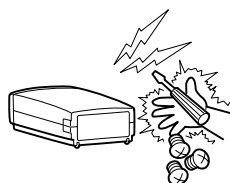
煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!

プラグを抜く

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理をご依頼ください。

落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない

使用禁止

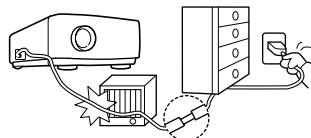
火災や感電の原因となります。

次のようなことはしない

キャビネットをはずしたり、改造しない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

電源コードを傷つけない

- 重いものをのせない
- 引っ張らない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 加熱しない
- 加工しない
- じゅうたんなどの下にひかない

禁止

コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。

内部に異物を入れない

禁止

金属類や燃えやすいものなどが入ると火災や感電の原因となります。

花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない

禁止

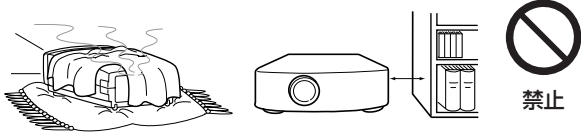
内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

⚠警告

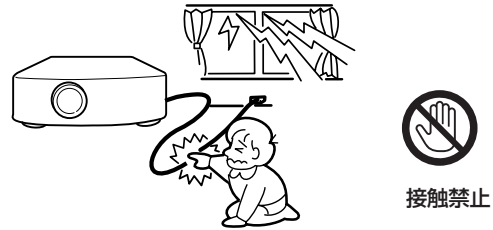
次のようなことはしない(つづき)

吸気口、排気口をふさがない

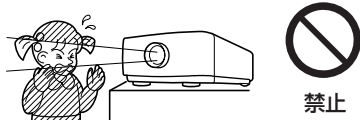
- 風通しの悪い狭い場所に置かない (壁から50cm以上離す)
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 排気口付近に燃えやすい物を置かない

禁止

吸気口や排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

接触禁止

感電の原因となります。

レンズをのぞかない

禁止

光源ランプの点灯中は、レンズをのぞかないでください。強い光によって視力障害などのけがの原因となります。

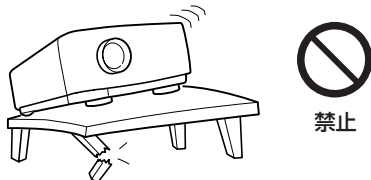
可燃性の溶剤(ベンジンやシンナーなど)やスプレーを近くで使用しない

禁止

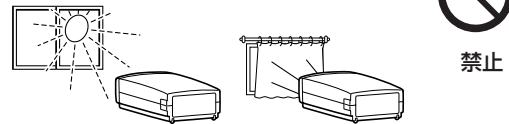
ランプを点灯すると製品内部は非常に高温になるため、引火し、火災や故障の原因となることがあります。

次のような場所に置かない

不安定な場所には置かない

禁止

(特に上下逆さまに置いた状態で)ぐらついた台の上や、傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

直射日光の当たる場所に置かない
レンズを太陽に向けたり、レンズの直前に物を置かない

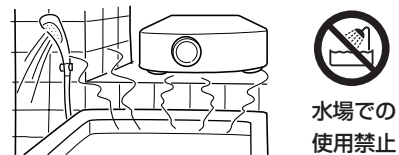
禁止

火災や故障の原因となります。

ソファー、椅子などの上に置かない

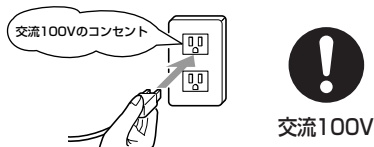
禁止

吸気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

風呂場では使わない

水場での
使用禁止

火災や感電の原因となります。

その他

正しい電源電圧で使う

交流100V

交流100V以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

使用した直後、光源ランプの交換はしない

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので、交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。

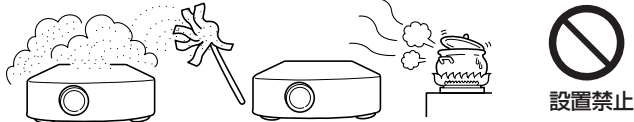
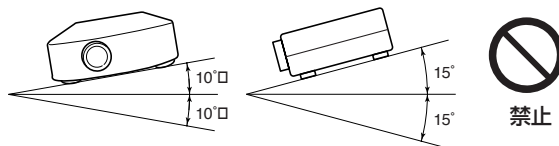
禁止

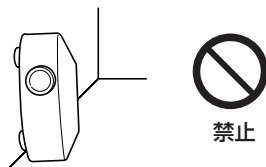
安全のために必ずお守りください(つづき)

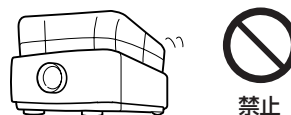
⚠注意

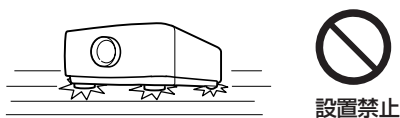
次のような場所には置かない

設置時は、次のような場所には置かない

- 押し入れや本棚など、風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など、高温になるところ
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所
- 熱器具の近く
- 直射日光の当たる場所
- 火災報知器の近く
- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 振動や衝撃が加わる場所

傾けた状態で動作させない

傾けた状態で動作させるとランプの故障や破裂の原因となります。左右方向に対して±10°、前後方向に対して±15°を越えて傾けた状態で動作させないでください。

立てた状態で置かない

倒れて、けがや故障の原因となります。

重いものを置かない、踏み台にしない

本体がこわれることがあります。また、バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

ワックスのかかった床に直接置かない

床上のワックス、洗剤、溶剤により、床材とプロジェクター底面脚部分の密着性が上がり、床材のはがれ、着色の原因になります。

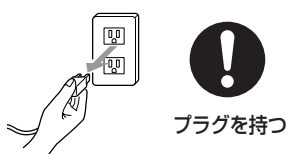
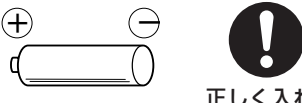
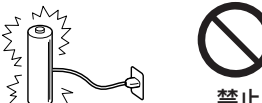
電源コード・プラグについて

接続したまま移動させない

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する

ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。
１年に１回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

⚠注意

乾電池の取り扱いについて

新しい乾電池と古い乾電池や、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。

禁止

分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しない。

禁止

プラス（＋）とマイナス（－）の向きを正しく入れる。

正しく入れる

乾電池を充電しない。
充電式の電池は使用しない。

禁止

- 乾電池は、(ー)側から入れてください。
  乾電池を(＋)側から入れると、(ー)側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れて、ショートして発熱する恐れがあります。
- 使いきった乾電池は、すぐに取り出してください。
- 乾電池の溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 使用済みの電池は、地域の破棄ルールに従って破棄してください。
- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだりした場合はすぐに医師に相談してください。

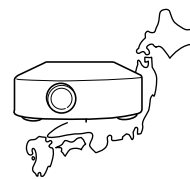
その他

1年に一度は内部の掃除を依頼する

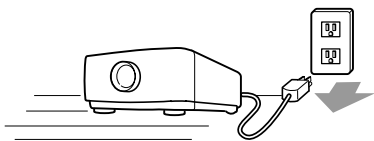
内部掃除

販売店にご依頼ください。ほこり、油煙、けむり等により内部に汚れが付着したまま長い間掃除をしないと、火災や故障および、光学部品の汚れによる輝度劣化の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、販売店にご相談ください。

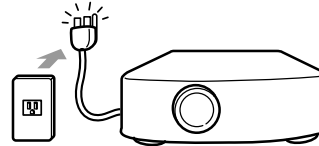
このDLP®プロジェクターは日本国内専用です

日本専用

電源電圧の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This DLP® projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

ご使用が終わったときは、電源プラグをコンセントから抜いておく

プラグを抜く

電源ボタンで電源を切り、光源ランプを消灯したスタンバイ（待機状態）にします。**約1分間**待ったあと、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
スタンバイにして約1分間待つのは、光源ランプを冷やすために吸、排気ファンが回っているからです。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う

プラグを抜く

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
感電の原因となることがあります。

製品使用中は排気口をのぞき込まない

排気口から温風、ゴミなどが吹き出すため、目をいためることがあります。

禁止

排気口、底板は熱くなりますので触れないこと

やけどや他の機器への損害を与える原因となりますので、さわったり、排気口の近くに他の機器を設置したりしないでください。また、熱に弱い机の上などに置かないでください。

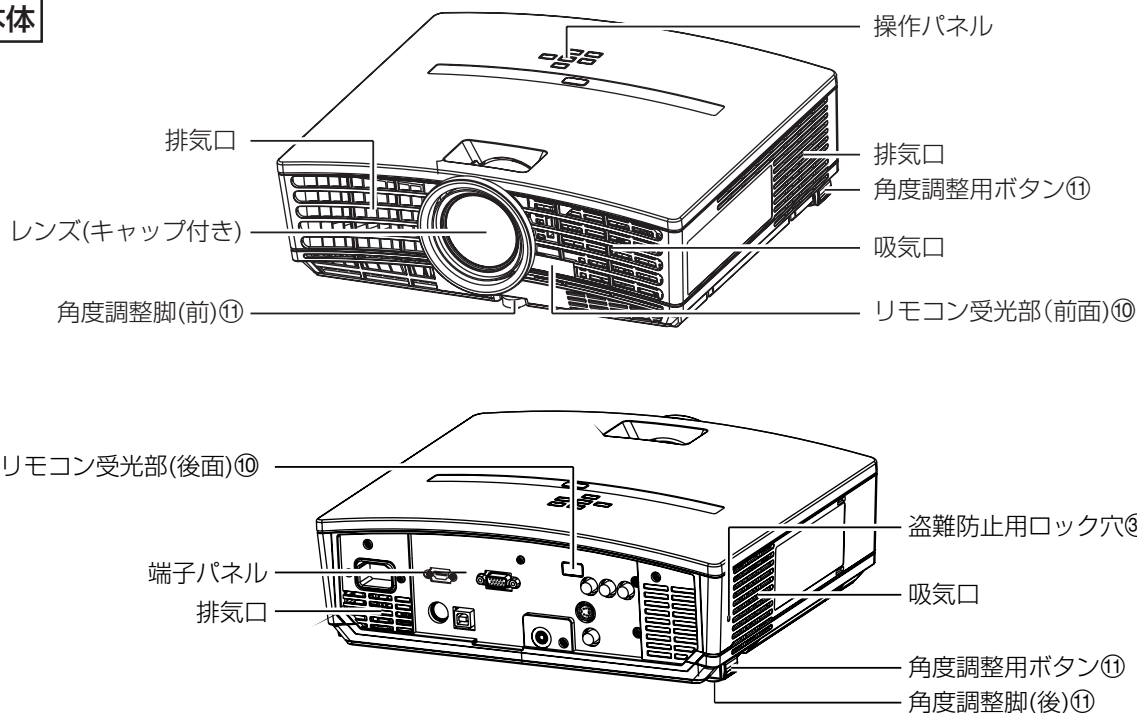
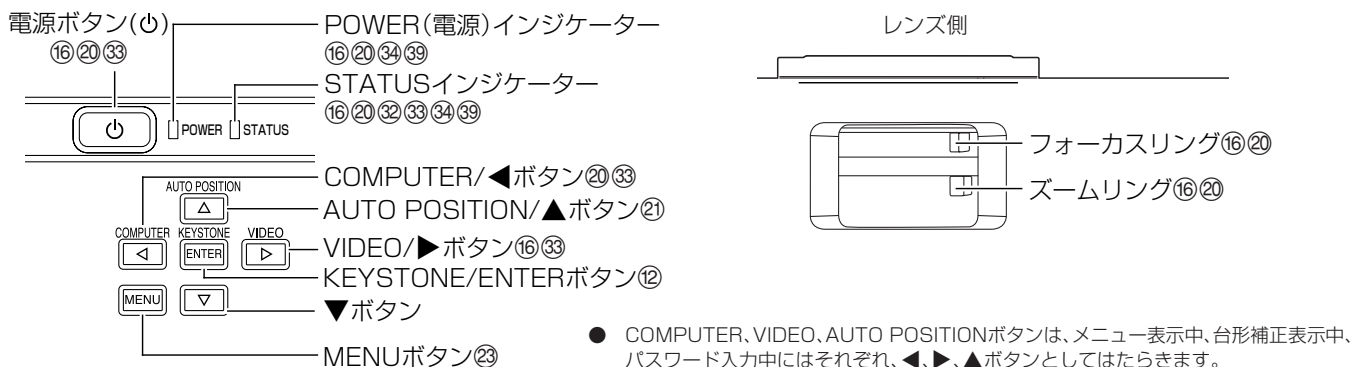
接触禁止

各部のなまえ

本体のなまえ（◯は参照ページ）

本体

操作パネル(天面)

● COMPUTER、VIDEO、AUTO POSITIONボタンは、メニュー表示中、台形補正表示中、パスワード入力中にはそれぞれ、◀、▶、▲ボタンとしてはたらきます。

端子パネル部

※ 1、※ 2) サービスマンの調整用端子です。

底面部

⚠注意

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。

リモコンのなまえ（◯は参照ページ）

● リモコンのボタンを押すと、リモコン上のすべてのボタンが点灯します。リモコンのボタンを離してから、しばらくたつと、自動的に消えます。

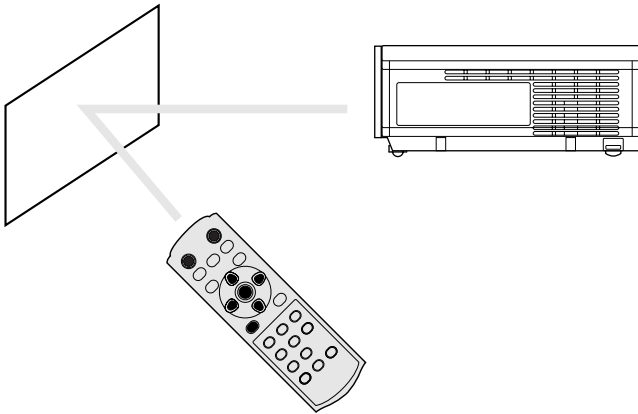
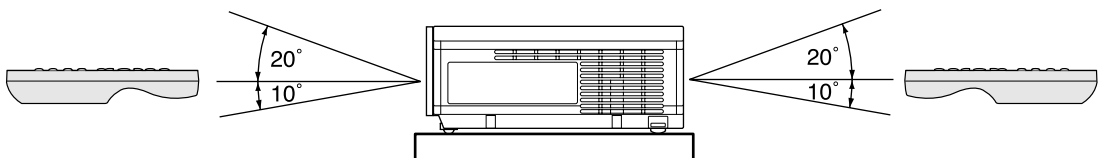
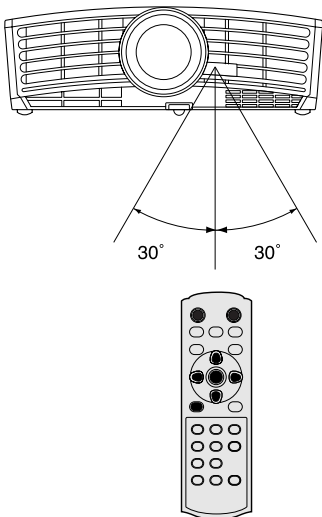
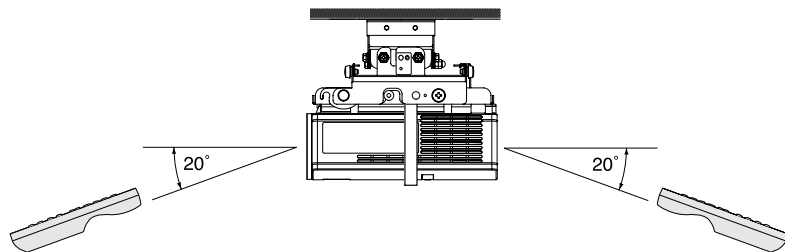
画質調整ボタンについて

リモコンの画質調整ボタンを使えば、簡単に画質調整が行えます。各ボタンを押すと、画質調整用の画面が右上に表示されますので、▶、◀ボタンを押して調整してください。
画質調整は、画質メニューでも調整できます。(23ページ参照)

(　)内は、メニュー画面上での表示です。

CONTRAST(コントラスト) .... 画像のメリハリを調整します。▶ボタンを押すごとに映像が明るくメリハリが出ます。◀ボタンを押すごとに映像が暗くしっとりとします。
BRIGHTNESS(ブライト) .... 画像の明るさを調整します。▶ボタンを押すごとに映像が明るくなります。◀ボタンを押すごとに映像が暗くなります。
COLOR TEMP(色温度) .... あらかじめ設定された色温度の中から選択します。また、ユーザーモードの色温度調整もできます。(26ページ参照)
GAMMA(ガンマモード) .... あらかじめ設定されたガンマモードの中から選択します。また、ユーザーモードのガンマモード調整もできます。(27ページ参照)
SHARPNESS(シャープネス) ...... 画像のシャープネスを調整します。▶ボタンを押すごとに画像がくっきりします。◀ボタンを押すごとに画像がソフトになります。

リモコンの使いかた

- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。
- リモコン受光部と蛍光灯は2m以上離してください。リモコンが誤動作することがあります。
- インバータ方式の蛍光灯が近くにある場合、リモコンが効きにくくなることがあります。
- リモコンと本体を近づけすぎると、リモコンが効きにくくなることがあります。

- スクリーンに向けて操作する場合、リモコンからスクリーンを通して本機までの合わせた距離が約5m以内にします。ただし、スクリーンによって操作可能範囲は異なります。

設置する

スクリーンの設置

スクリーンはプロジェクターに対して垂直になるように設置してください。垂直に設置できない場合は、プロジェクターの投写角度を調整してください(下記参照)。

- プロジェクターのレンズがスクリーンの中心にくるように設置してください。
- スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、投写映像が見にくくなります。

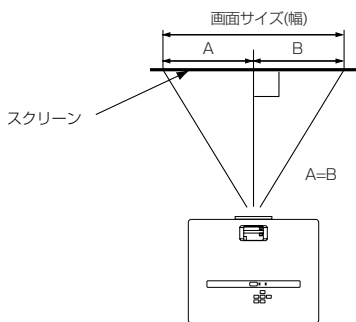
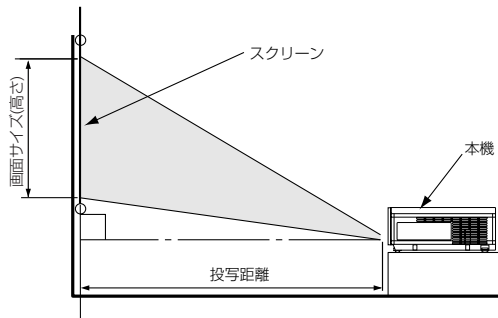
スクリーンサイズの設定について

画質メニュー(23ページ参照)のスクリーンサイズをご使用のスクリーンのサイズに合わせることにより、映像の表示エリアがスクリーンからはみださないように設定できます。

スクリーンサイズを「CINEMA SCOPE(2.35:1)」に設定した場合

- シネマスコープサイズの映像を画面いっぱいに写します。
- ビスタサイズの映像は左右小さくなって写ります。
- オプションメニューの画角を「AUTO」に設定しているときに、480p, 720p, 1080iの信号が入力された場合、字幕部分が表示されなくなります。
  その時、画質メニューのスクリーンサイズを16:9にして、画質メニューの映像ポジションで調整してください。(メニューもスクリーン内に表示したい場合は信号設定メニューの詳細設定でSHUTTER(U)を下げてメニュー位置を合わせてください。)

基本的な設置

投写したい画面サイズに合わせて、スクリーンからの距離を決めます(12、13ページ参照)。

- 設置する場所については、あらかじめ4～7ページの「安全のために必ずお守りください」をお読みください。

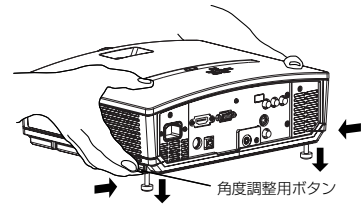
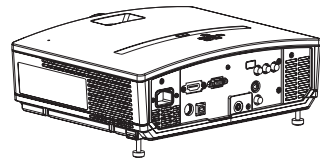
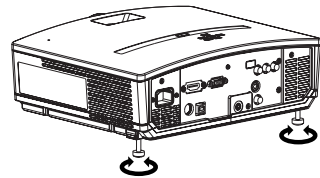
投写角度を調整する

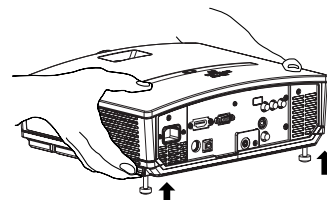
投写した映像がスクリーンからはみだすときは、高さを調整するか、または投写角度を以下のようにして調整してください。

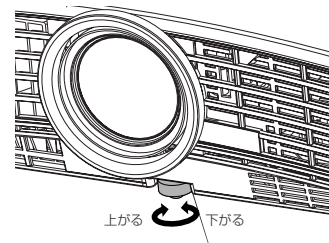
1 本体を投写させたい角度まで持ち上げる

- 傾き角を前後方向に対して15°以内に設置してください(角度調整脚のみによる角度調整角は、最大7°になります)。

2 左右の角度調整用ボタンを中心方向へ押す

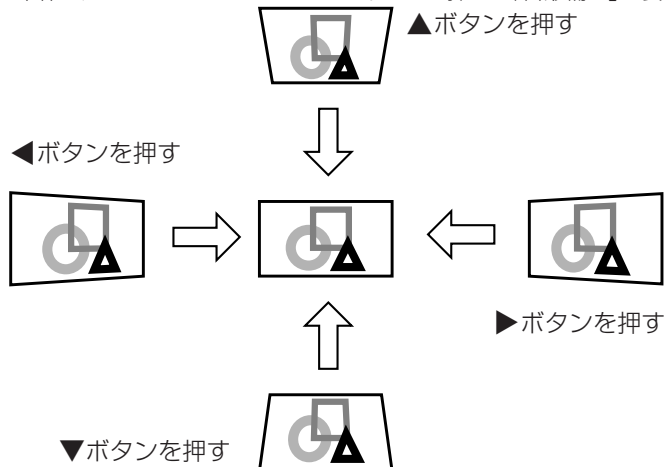
- 2本の脚が飛び出ます。

3 角度調整用ボタンおよび本体から手を離す

4 角度調整脚を左右に回して画面が平行になるように微調整する

角度調整脚を収納するときは

5 本体を手で支えながら左右の角度調整用ボタンを中心方向へ押してゆっくり本体を降ろす

前面の角度調整脚について

本機は前面にも角度調整脚が付いています。お好みの高さに合わせて調整してください。

設置する(つづき)

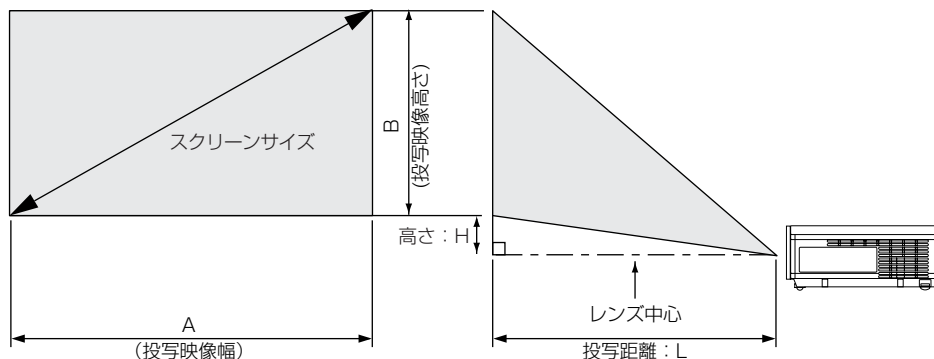
画面が台形にひずむときは

スクリーンと本機が直角になっていないと画面が台形になります。本機、およびスクリーンを調整しても直角にならないときは台形補正を行ってください。本機は、上下方向および左右方向の台形補正を行うことができます。

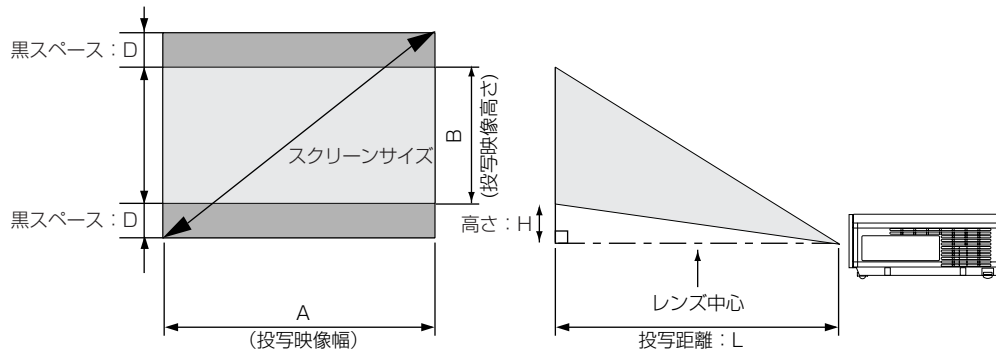
本体またはリモコンのKEYSTONEボタンを押して「台形補正」を表示させてから、◀、▶、▲、▼ボタンを押して調整します。

- 台形補正時には調整値が表示されますが、投写角度とは異なります。
- 調整時に表示される調整値は、設置状態により調整範囲が異なります。
- 本体とスクリーンの設置条件によっては、正しく長方形にならない場合や、正しいアスペクト比にならない場合があります。
- 台形補正を行うと、解像度が低下します。また、細かい模様の映像での縞の発生、直線の折れ曲がりなどの現象が見られますが、故障ではありません。
- 入力信号によっては、画像が正常に表示されないことがあります。
- 水平・垂直の台形補正を組み合わせて行うと、それぞれ単独で調整する場合よりも、補正できる範囲が狭くなります。

画面サイズと投写距離

下記の表を参考にスクリーンサイズを決めてください。

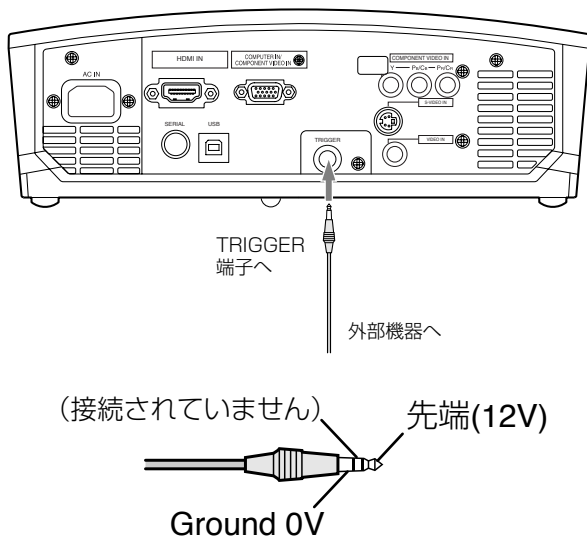
スクリーンサイズが16:9の場合(画質メニューのスクリーンサイズを16:9に設定した場合)

スクリーンサイズ			高さ:H	投写距離:L	
(形)	幅(cm)	高さ(cm)	(cm)	最短(m)	最長(m)
40	89	50	17	1.4	1.7
60	133	75	25	2.2	2.6
70	155	87	29	2.5	3.1
80	177	100	33	2.9	3.5
90	199	112	38	3.3	4.0
100	221	125	42	3.6	4.4
110	244	137	46	4.0	4.9
120	266	149	50	4.4	5.3
150	332	187	63	5.5	6.6
200	443	249	84	7.3	8.9
250	553	311	105	9.2	–
275	609	342	115	10.1	–

- 表示値は、実際と数%誤差が生じることがあります。

スクリーンサイズが4:3の場合

スクリーンサイズ(4：3)			投写映像サイズ(16：9)					投写距離:L	
(形)	幅(cm)	高さ(cm)	(形)	幅A(cm)	高さB(cm)	D(cm)	高さH(cm)	最短(m)	最長(m)
40	81	61	37	81	46	8	15	1.3	1.6
60	122	91	55	122	69	11	23	2.0	2.4
70	142	107	64	142	80	13	27	2.3	2.8
80	163	122	73	163	91	15	31	2.7	3.2
90	183	137	83	183	103	17	35	3.0	3.6
100	203	152	92	203	114	19	38	3.3	4.0
110	224	168	101	224	126	21	42	3.7	4.5
120	244	183	110	244	137	23	46	4.0	4.9
150	305	229	138	305	171	29	58	5.0	6.1
200	406	305	184	406	228	38	77	6.7	8.1
250	508	381	229	508	286	48	96	8.4	10.2
300	610	457	275	610	343	57	115	10.1	–

● 表示値は、実際と数%誤差が生じることがあります。

TRIGGER端子について

プロジェクター後面のTRIGGER端子は、投写時に外部機器制御用の12Vの信号を出力する端子です。電動スクリーンなどに接続します。

TRIGGER端子を使用するためには、設置メニューのTRIGGER出力の設定をONにする必要があります。（工場出荷時にはOFFになっています。）以下の操作を行って、設定を変更してください。

1 設置メニューを表示させる(23ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押してTRIGGER出力を選択する

3 ◀、▶ボタンを押してONにする

⚠注意

- TRIGGER端子の出力を他の機器の電源などに使用しないでください。
- 他の機器の音声端子などに接続すると、他の機器の故障の原因になります。
- TRIGGER端子の定格電流は200mAです。定格を越えて使用すると故障の原因になります。
- 電動スクリーンについては、スクリーンメーカーにお問い合わせください。

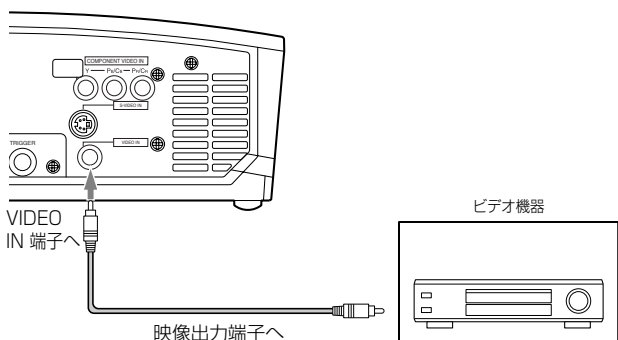
ビデオ映像を見る

A.ビデオ機器と接続する

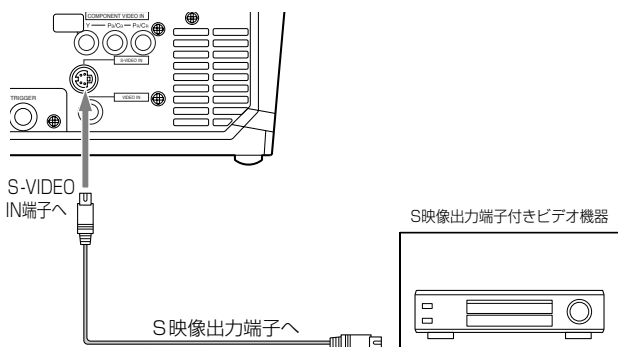
● 接続する機器の説明書もあわせてごらんください。

● 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

準備

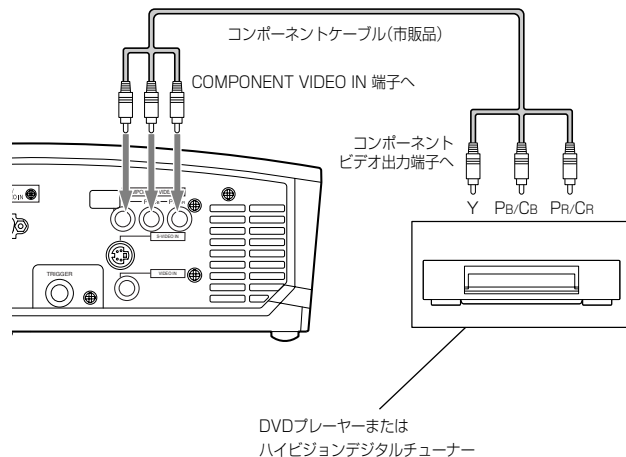
● プロジェクターおよびビデオ機器の電源が切れていることを確認する

1 市販のビデオケーブルのプラグを本機のVIDEO IN端子に接続する

2 ビデオ機器の映像出力端子にビデオケーブルのもう一方のプラグを接続する

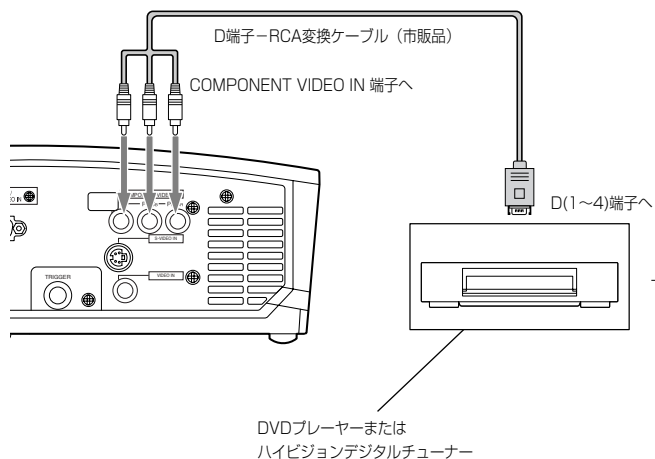
S映像出力端子付きビデオ機器と接続する

1 市販のSビデオケーブルを本機のS-VIDEO IN端子に接続する

2 ビデオ機器のS映像出力端子にSビデオケーブルのもう一方を接続する

DVDプレーヤーまたはハイビジョンデジタルチューナーと接続する

DVDプレーヤーまたはハイビジョンデジタルチューナーなど、コンポーネントビデオ出力端子を持つ機器と本機を接続するときは、COMPONET VIDEO IN端子に接続します。

● DVDプレーヤーおよびハイビジョンデジタルチューナーによっては映像が正しく投写できない場合があります。

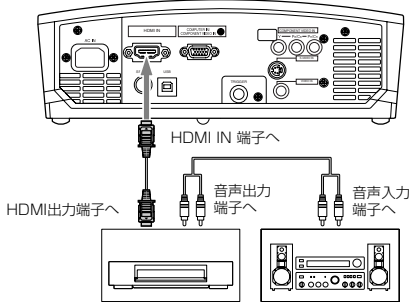
D端子付きDVDプレーヤーまたはハイビジョンデジタルチューナーと接続する

DVDプレーヤーまたはハイビジョンデジタルチューナーなど、D端子を持つ機器と本機を接続するときは、市販のD端子－RCA変換ケーブルを使って、COMPONET VIDEO IN端子に接続します。

● DVDプレーヤーおよびハイビジョンデジタルチューナーによっては映像が正しく投写できない場合があります。

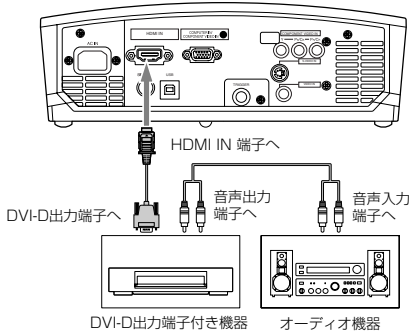
HDMI/DVI-D 出力端子付き映像機器との接続

本機のHDMI IN端子は、HDMI出力端子付きまたはDVI-D出力端子付きの映像機器と接続することにより、高画質な映像が投写できます。また、HDCPに対応していますので、DVDプレーヤーなどから出力される暗号化されたデジタル画像を受信することができます。

- 入力切換えは、HDMIを選択します。
- HDCP(High-band with Digital Content Protection)とは、Intel社によってコンテンツ保護を目的に開発されたデジタル画像信号の暗号化形式の１つです。
- HDMI(High-Definition Multimedia Interface)とは、DVIをベースに発展した、コンピュータ、ディスプレイ、家電機器対応のデジタル信号入出力インターフェース規格です。
- 本機はHDMI出力端子およびDVI-D出力端子付きの映像機器と接続することができますが、一部の機器では映像が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 映像が出ないなど正常に動作しない場合、映像機器の取扱説明書の接続方法を確認してください。
- HDMI規格適合品以外を使用すると正常に動作しない場合があります。
- 長いケーブルを使用すると映像が正常に映らないことがあります。

接続例 (HDMI出力端子付き映像機器の場合)

- 接続は、市販のHDMIロゴの付いているHDMIケーブルをご使用ください。

接続例 (DVI-D出力端子付き映像機器の場合)

DVI-D出力端子付き機器　オーディオ機器

- 接続は、市販のHDMI-DVI変換ケーブルをご使用ください。

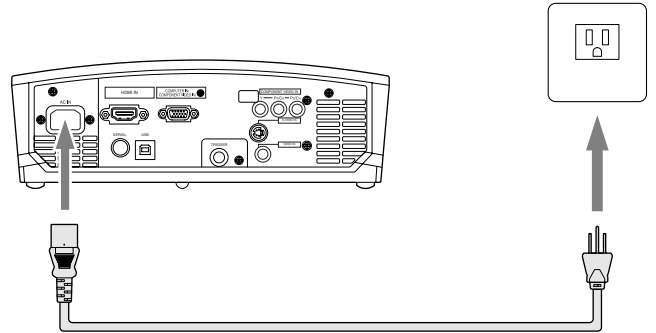
デジタル機器との接続について

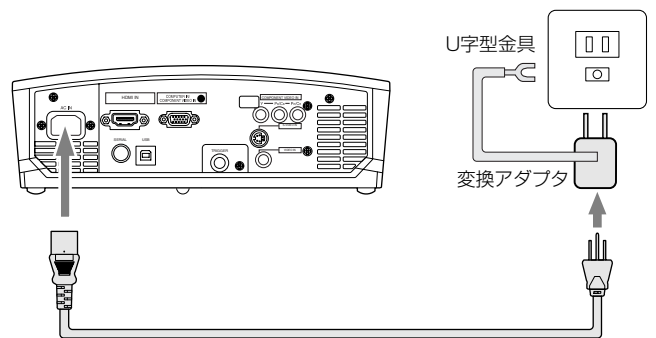
本機とデジタル機器（DVDプレーヤーなど）をHDMI端子で接続した場合、**機器によっては映像の黒レベルが沈み、黒つぶれすることがあります。**これはデジタル映像伝送の規格が2種類あり、黒レベルの設定がそれぞれ異なるためです。デジタル機器によっては異なる規格の信号を出力するものがあります。デジタル機器には、デジタル出力信号規格を切り換える機能が搭載されているものがあります。これを下記のように切り換えてください。

エクスパンドまたはエンハンスド　→　ノーマル

詳細はデジタル機器の取扱説明書をご参照ください。デジタル機器に切り換えがない場合は、**画質メニューのブライトを+16、コントラストを-17にするか、映像に合わせて調整**してください。

B. 電源コードを差し込む

電源コンセントにアース端子の差込口が付いている場合

1. 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する
2. 電源コードの電源プラグを電源コンセントに差し込む

電源コンセントにアース端子の差込口が付いていない場合

1. 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する
2. 電源コードの電源プラグに付属の変換アダプタを取り付ける
3. 変換アダプタのU字型金具を電源コンセントのアース端子に接続する(接地)

- 接地接続は必ず、変換アダプタを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず変換アダプタを電源コンセントから抜いたあとに行ってください。
- 変換アダプタのアースをガス管･水道管･避雷針などへ絶対に取り付けないでください。
- 電源コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください（有料）。

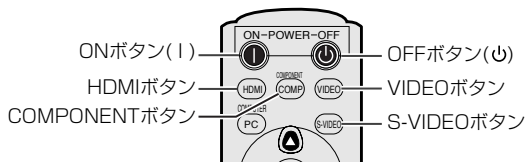
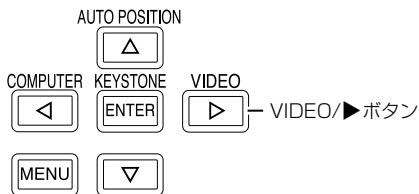
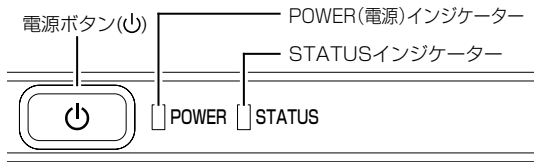
4. 変換アダプタを電源コンセントに差し込む

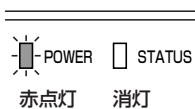
- 本機の電源は、必ずアース付き交流100Vのコンセントを使用してください。

ビデオ映像を見る(つづき)

C.投写する

準備

- レンズキャップをはずす
- ビデオ機器の電源を入れる

電源を入れる

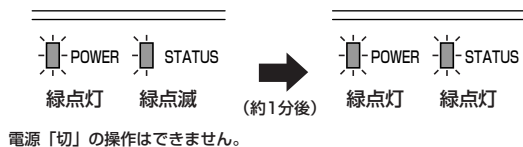
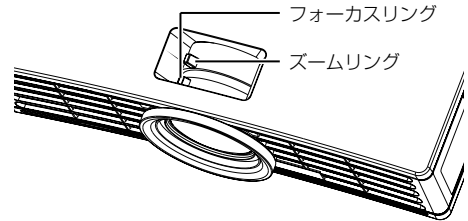
1 POWERインジケーターが赤色に点灯しているのを確認する

- 電源プラグをコンセントに接続すると、POWERインジケーターが赤色に点灯します。
- 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、もう一度点灯させてください。

2 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのONボタン(I)を押す

電源「切」の操作はできません。

- ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってからもう一度点灯させてください。
- 電源を入れたあと、またはランプモードが切り換わったあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは、電源を入れたときは「標準」モードで起動します。「低」モードに設定している場合は、約1分で「低」モードに切り換わります。

- 使用中はレンズキャップをレンズにかぶせないでください。
- レンズキャップ内側のアルミシートをはがさないでください。

ピントを調整する

3 フォーカスリングを回してピントを調整する

入力を切り換える

4 リモコンのVIDEOボタン、S-VIDEOボタン、COMPONENTボタンまたは本体のVIDEOボタンを押す

- 本体のVIDEOボタンを押すごとに「VIDEO」→「S-VIDEO」→「COMPONET」→「VIDEO」と切り換わります。
- COMPUTER IN/COMPONENT VIDEO IN端子で接続しているDVDプレーヤーやハイビジョンデジタルチューナーの映像を見るときは、リモコンまたは本体のCOMPUTERボタンを押します。
- HDMI IN端子で接続しているDVDプレーヤーなどの映像を見るときは、リモコンのHDMIボタンまたは本体のCOMPUTERボタンを押します。
- 本体のCOMPUTERボタンを押すごとに「COMPUTER」→「HDMI」→「COMPUTER」と切り換わります。
- 投写する映像によってはアスペクト(画角)を変更した方が見やすい場合があります(18ページ参照)。

設置する

5 所定の画面サイズが得られるように投写距離を調整して設置する

- スクリーンから本機までの距離は、12、13ページの表を目安にして設置してください。

6 本機とスクリーンが垂直になるように設置する

- 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください(11ページ参照)。

7 ズームリングを回して投写画面サイズを調整する

● 必要に応じて、操作3～7の設定を微調してください。

電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。電源プラグを抜いて電源を切った場合、ランプ性能の劣化や本体故障の原因となることがあります。

8 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのOFFボタン(⏻)を押す

● 「電源オフ時は再度電源ボタンを押してSTATUSインジケーターが消えるまでクーリングしてください」のメッセージが表示されます。
● この状態を解除するには、本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのOFFボタン(⏻)以外のボタンを押してください。なお、10秒後に自動的にメッセージは消えます。

9 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのOFFボタン(⏻)をもう一度押す

● 光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUSインジケーターが点滅します。

10 STATUSインジケーターの緑点滅が消えるまで、約1分間そのまま待つ

● スタンバイ状態で約1分間待つのは、光源ランプを冷やすために、吸、排気ファンが回っているからです。
● STATUSインジケーターが点滅中は電源プラグをコンセントから抜かないでください。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

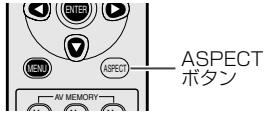
11 電源プラグをコンセントから抜く

● POWERインジケーターが消灯します。

ビデオ映像を見る(つづき)

D.アスペクト(画角)設定について

本機には入力された映像信号に対して、アスペクト比(画面の縦横比)を変更することができます。入力された映像信号に合わせて、設定を変更してください。

リモコンを使って設定する

1 ASPECTボタンを押す

● ASPECTボタンを押すごとに「AUTO」→「4:3」→「16:9」→「ズーム1」→「ズーム2」→「ストレッチ」→「REAL」→「AUTO」と切り換わります。
● 信号の種類によって選択できないモードがあります。

本体操作パネルを使って設定する

1 オプションメニューを表示させる(メニュー設定のしかたは23ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押して「画角」を選ぶ

画角	◀ AUTO ▶
パスワードロック	◀ キー操作 ▶
メニュー位置	◀ 1. ▶

3 ◀、▶ボタンを押してお好みの画角(アスペクト)を選択する

4 MENUボタンを押してメニューを消す

ASPECTボタンについて

スクイーズ(左右に圧縮)された映像が記録されたDVDディスクなどを投写するとき、ASPECTボタンを押すとアスペクト比が切り換わります。

● 長時間4:3画面で使用されたあと、16:9表示で使用されると、画面の左右にマスク部分の痕跡が残る場合があります。このような場合には販売店にご相談ください。

元画像		4:3	16:9	ズーム1	ズーム2	ストレッチ	REAL
		入力信号に合わせてアスペクト比が変わります。	スクイーズの映像を16:9に引き延ばして投写します。	シネマスコープサイズの映像を拡大して字幕と一緒に投写します。	ビスタサイズの映像を拡大して字幕と一緒に投写します。	中央のアスペクト比はそのままで16:9で投写します。	入力信号のサイズに合わせて映像を投写します。
4:3信号 NTSC, PAL, 480i/p, 576i/p ほか							
スクイーズ信号 480i/p, 576i/p							
シネマスコープ信号 480i/p, 576i/p	Sub Title	Sub Title	Sub Title	Sub Title	Sub Title	Sub Title	Sub Title
ビスタ信号 480i/p, 576i/p	Sub Title	Sub Title	Sub Title	Sub Title	Sub Title	Sub Title	Sub Title
16:9信号 720p, 1080i							

信号サイズ
映像部分

● 太枠は、おすすめのモードです。
● アスペクト(画角)をAUTOに設定しているときは、入力信号に合わせて自動的に最適なアスペクト比が選ばれます。
● アスペクト(画角)をズーム1、ズーム2に設定しているとき、リモコンの▲または▼ボタンで表示位置を移動できます。
● 480i信号入力時、ズーム1、ズーム2を選択すると、他の信号(576i、480p、576p)入力時より表示画面が小さくなります。
● ストレッチモードでは、信号設定メニューのオーバースキャンおよびSHUTTERは動作しません。
● 画質メニューのスクリーンサイズの設定によって、表示が変化します。上の表は、「16:9」に設定した場合を表しています。
● 本機はアスペクト比切り換え機能を備えていますが、入力信号と異なるアスペクト比を選択されますと、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、元の入力信号と同じアスペクト比に設定してでごらんください。
● 本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、店内外、ホテルなどにおいて、アスペクト比切り換えを利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
● REALモードはオーバースキャンを行うため、少し拡大表示されることがあります。また、パネル表示解像度より大きい信号は圧縮されて表示されます。

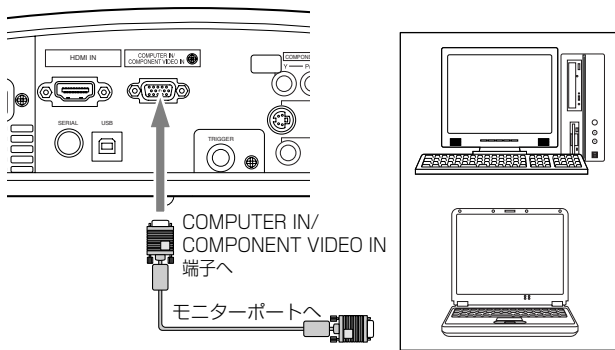
コンピュータの映像を見る

A. コンピュータと接続する

- 接続する機器の説明書もあわせてごらんください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

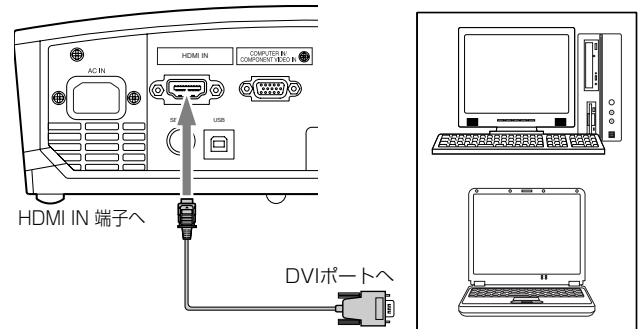
準備

- プロジェクターおよびコンピュータの電源が切れていることを確認する
- デスクトップタイプの場合、モニターに接続されているRGB信号ケーブルをはずす

アナログRGB(ミニD-Sub15ピン)端子付きコンピュータと接続する

1 付属のRGB信号ケーブルを本機のCOMPUTER IN/COMPONENT VIDEO IN端子に接続する

2 コンピュータのモニターポートにRGB信号ケーブルのもう一方を接続する

- 接続するコンピュータの機種によっては、変換コネクタやアナログRGB出力アダプタなどが必要な場合があります。
- 付属のRGB信号ケーブル以外の長いケーブルを使用すると映像が正常に映らないことがあります。
- 本機のCOMPUTER IN/COMPONENT VIDEO IN端子はDDC1/2Bに対応しています。この規格に対応したコンピュータと接続した場合、コンピュータが自動的に本機の情報を読み出し、適切な映像を出力するように設定されます。
- DDC対応のコンピュータと接続している場合、本機の電源プラグを電源コンセントに差し込んでからコンピュータを起動してください。

DVI端子付きコンピュータと接続する

1 HDMI-DVI変換ケーブルを本機のHDMI IN端子に接続する

2 コンピュータのDVIポートにHDMI-DVI変換ケーブルのもう一方を接続する

3 本機の電源プラグを電源コンセントに差し込んでからコンピュータを起動する

- 先にコンピュータを起動した場合、映像が表示されない場合があります。

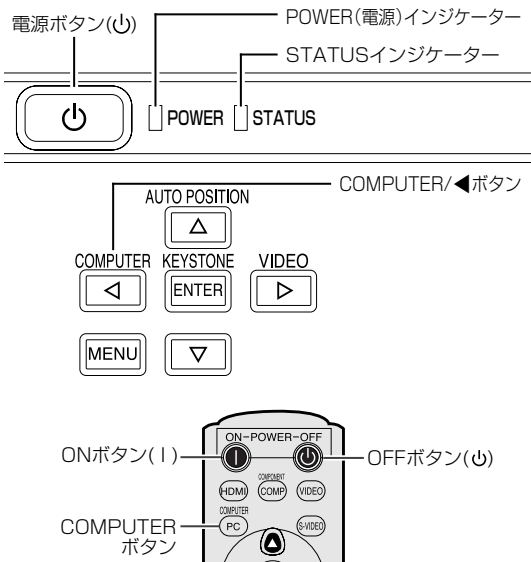
コンピュータの映像を見る(つづき)

B.電源コードを差し込む

「ビデオ機器と接続する」と同じです。15ページをごらんください。

C.投写する

準備

- レンズキャップをはずす
- コンピュータの電源を入れる

電源を入れる

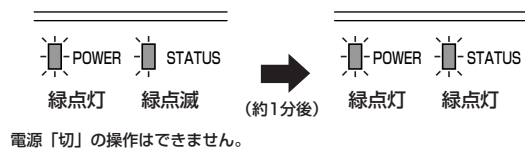
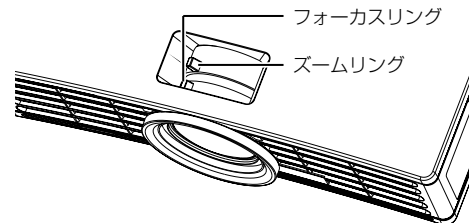
1 POWERインジケーターが赤色に点灯しているのを確認する

- 電源プラグをコンセントに接続すると、POWERインジケーターが赤色に点灯します。
- 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、もう一度点灯させてください。

2 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのONボタン(Ⅰ)を押す

電源「切」の操作はできません。

- ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってからもう一度点灯させてください。
- 電源を入れたあと、またはランプモードが切り換わったあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは、電源を入れたときは「標準」モードで起動します。「低」モードに設定している場合は、約1分で「低」モードに切り換わります。
- 使用中はレンズキャップをレンズにかぶせないでください。
- レンズキャップ内側のアルミシートをはがさないでください。

ピントを調整する

3 フォーカスリングを回してピントを調整する

入力を切り換える

4 リモコンのCOMPUTERボタン、HDMIボタンまたは本体のCOMPUTERボタンを押す

- 本体のCOMPUTERボタンを押すごとに「COMPUTER(RGB入力)」→「HDMI」→「COMPUTER(RGB入力)」と切り換わります。
- ノートタイプのコンピュータの場合、コンピュータ側の設定を変更しないと映像が投写されない場合があります。くわしくは21ページをごらんください。
- 画面がちらつくときは、リモコンの◀または▶ボタンを押してちらつきをなくしてください。

設置する

5 所定の画面サイズが得られるように投写距離を調整して設置する

- スクリーンから本機までの距離は、12、13ページの表を目安にして設置してください。

6 本機とスクリーンが垂直になるように設置する

- 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください(11ページ参照)。

7 ズームリングを回して投写画面サイズを調整する

- 必要に応じて、操作3～7の設定を微調してください。

電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。電源プラグを抜いて電源を切った場合、ランプ性能の劣化や本体故障の原因となることがあります。

8 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのOFFボタン(⏻)を押す

- 「電源オフ時は再度電源ボタンを押してSTATUSインジケーターが消えるまでクーリングしてください」のメッセージが表示されます。
- この状態を解除するには、本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのOFFボタン(⏻)以外のボタンを押してください。なお、10秒後に自動的にメッセージは消えます。

9 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのOFFボタン(⏻)をもう一度押す

- 光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUSインジケーターが点滅します。

10 STATUSインジケーターの緑点滅が消えるまで、約1分間そのまま待つ

- スタンバイ状態で約1分間待つのは、光源ランプを冷やすために、吸、排気ファンが回っているからです。
- STATUSインジケーターが点滅中は電源プラグをコンセントから抜かないでください。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

11 電源プラグをコンセントから抜く

- POWERインジケーターが消灯します。

ノートタイプの場合

ノートタイプのコンピュータと接続した場合、映像が投写されない場合があります。そのときは、コンピュータの信号を外部に出力させる設定を行ってください。設定のしかたは、コンピュータによって異なりますので、コンピュータの取扱説明書をごらんください。

- 外部出力させる操作の例
  「Fn」キー+「 F1」～「F12」キーのいずれか(機種によって異なります)を押す。

AUTO POSITIONボタンについて

コンピュータの映像がずれるときは以下の操作を行ってください。

1 できるだけ明るい画面(ゴミ箱などのウィンドウを全画面表示にするなど)にする。

2 スクリーンセーバーがはたらいているときは、スクリーンセーバーを解除する。

3 AUTO POSITIONボタンを押す。

- 入力信号に最適な設定になるように自動調整が行われます。
- 数回、AUTO POSITIONボタンを押してもまだずれる場合は、詳細設定メニューで設定を変更して画面の位置を合わせてください(28ページ参照)。

映像を一時的に消す(ブランク)

一時的に映像を消すことができます。

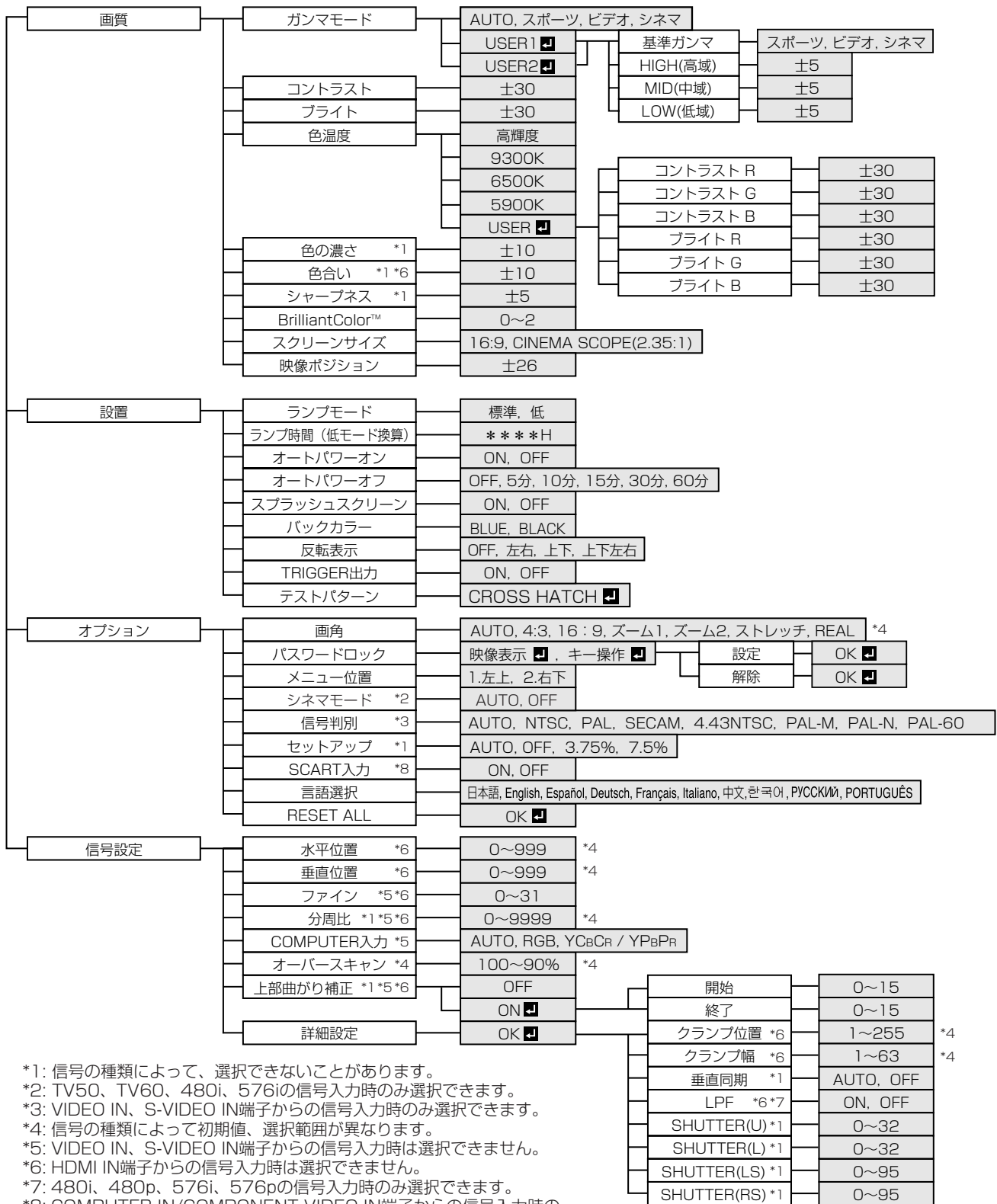
操作のしかた

1 リモコンのBLANKボタンを押す

映像が真っ暗になります。

- もう一度BLANKボタンを押すと、通常画面にもどります。
- BLANKの解除には数秒かかります。

メニューを使って設定する

メニュー遷移図

*1: 信号の種類によって、選択できないことがあります。
*2: TV50、TV60、480i、576iの信号入力時のみ選択できます。
*3: VIDEO IN、S-VIDEO IN端子からの信号入力時のみ選択できます。
*4: 信号の種類によって初期値、選択範囲が異なります。
*5: VIDEO IN、S-VIDEO IN端子からの信号入力時は選択できません。
*6: HDMI IN端子からの信号入力時は選択できません。
*7: 480i、480p、576i、576pの信号入力時のみ選択できます。
*8: COMPUTER IN/COMPONENT VIDEO IN端子からの信号入力時のみ選択できます。

● メニュー画面上の「↵」マークのある項目は、確定するためには項目を選んでからENTERボタンを押す必要があります。

メニュー設定のしかた

画面はオートパワーオンの設定を例として説明しています。

1 MENUボタンを押す

● メニュー選択バーが表示されます。

2 ◀、▶ボタンを押して表示させたいメニューを選ぶ

● ◀、▶ボタンを押すごとに「画質」⇔「設置」⇔「オプション」⇔「信号設定」⇔「画質」と切り換わります。

3 ENTERボタン(または▼ボタン)を押す

● 希望のメニューが表示されます。

4 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

5 ◀、▶ボタンを押して設定する

メニューを消すときは

6 MENUボタンを数回押す

● 画質メニュー、信号設定メニュー、および詳細設定メニューの調整は、外部からの信号が入力されている状態でのみ行うことができます。

● ボタンを押しても、メニュー画面の操作ができないことがあります。この場合、誤動作している可能性があります。このときは、一度電源プラグをコンセントから抜き、10分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続してください。

メニューで設定できること

本機では、以下の設定はメニュー画面を表示させて行います。

画質メニュー

※外部信号が入力されていないと調整はできません。

設定項目	設定	はたらき
ガンマモード	AUTO	入力信号に合わせて自動的に最適なガンマモードが選ばれます。
	スポーツ	スポーツなどに適した明るいモードです。
	ビデオ	ビデオ映像など標準的なモードです。
	シネマ	映画館のように部屋を暗くして映画を鑑賞するモードです。
	USER1/USER2	ガンマカーブをお好みに調整します(27ページ参照)。
コントラスト	−30〜30	映像のコントラストを調整します(26ページ参照)。
ブライト	−30〜30	映像の明るさを調整します(26ページ参照)。
色温度	高輝度	輝度を重視したモードです。
	9300K/6500K/5900K	あらかじめ設定された色温度の中から選択します。
	USER↵	独自の色温度に調整します(26ページ参照)。
色の濃さ	−10〜10	映像の色の濃さを調整します(26ページ参照)。
色合い	−10〜10	映像の色合いを調整します(26ページ参照)。
シャープネス	−5〜5	映像の鮮鋭度を調整します(26ページ参照)。
BrilliantColor™	0〜2	BrilliantColor™機能を設定します。
スクリーンサイズ	2種類	スクリーンのサイズに合わせて選択します(11ページ参照)。
映像ポジション	−26〜26	表示映像の投写位置(高さ)を調整します。

● TV50(PAL、SECAM)信号入力時は色合いの調整はできません。

● BrilliantColor™は米国テキサスインスツルメンツ社のBrilliantColor™テクノロジーを使用しており、設定をONにすることにより、優れた色彩を提供しながら、さらに高輝度な映像を実現します。

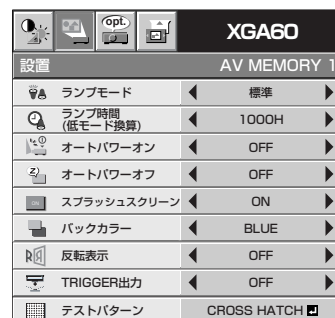
● 画質メニューは、AVメモリー機能により各入力端子ごとに3種類まで設定を記録することができます。(27ページ参照)

● HDMI機器の出力設定がRGBの場合は、色の濃さの調整はできません。

メニューを使って設定する(つづき)

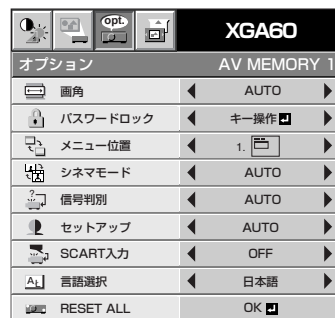
設置メニュー

XGA60	
設置	AV MEMORY 1
ランプモード	標準
ランプ時間(低モード換算)	1000H
オートパワーオン	OFF
オートパワーオフ	OFF
スプラッシュスクリーン	ON
バックカラー	BLUE
反転表示	OFF
TRIGGER出力	OFF
テストパターン	CROSS HATCH ↵

設定項目	設定	はたらき
ランプモード	標準	明るい部屋で使用する場合に選びます。
	低	ランプの明るさを抑えるモードです。動作音が小さくなり、光源ランプの交換に至るまでの時間が長くなります。
ランプ時間(低モード換算)	＊＊＊＊H	ランプモードを「低」にして使用した場合のランプ使用時間が表示されます。 ※ランプモードを「標準」にして使用した場合は、実際に使用した時間より長く表示されます。
オートパワーオン	OFF	通常はこれを選びます。
	ON	電源プラグをコンセントに接続したとき、自動的に電源が入ります。天吊り時などに設定します。
オートパワーオフ	OFF	オートパワーオフは、はたらきません。
	5分,10分,15分,30分,60分	映像信号が未入力のとき、設定した時間になると自動的に電源が切れます。
スプラッシュスクリーン	ON	電源を入れたとき、スプラッシュスクリーン(起動画面)を表示します。
	OFF	スプラッシュスクリーン(起動画面)を表示しません。
バックカラー	BLUE, BLACK	無信号時の背景の色を選択します。
反転表示	OFF	床置きで正面から映像を見るときに選びます、通常はこれを選びます。
	左右	床置きでスクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。
	上下	天吊りして、スクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。
	上下左右	天吊りして、正面から映像を見るときに選びます。
TRIGGER出力	ON, OFF	ONにすると、ランプ点灯時、TRIGGER端子よりトリガ出力(12V)を出力します。
テストパターン	CROSS HATCH ↵	クロスハッチのテストパターンを表示します。

- ランプモードは、電源を入れたときは「標準」モードで起動します。「低」モードに設定している場合は、約1分で「低」モードに切り換わります。
- ランプモードを切り換えたとき、映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは頻繁に切り換えないでください。
- テストパターン表示中、いずれかのボタンを押すと、テストパターンは解除されます。

オプションメニュー

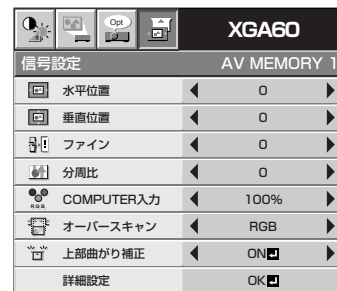
XGA60	
オプション	AV MEMORY 1
画角	AUTO
パスワードロック	キー操作 ↵
メニュー位置	1.
シネマモード	AUTO
信号判別	AUTO
セットアップ	AUTO
SCART入力	OFF
言語選択	日本語
RESET ALL	OK ↵

設定項目	設定	はたらき
画角(18ページ参照)	AUTO	入力信号に合わせて自動的に最適なアスペクト比が選ばれます。
	4:3	4:3のアスペクト比のときに選びます。
	16:9	16:9のアスペクト比のときに選びます。(リニア)
	ズーム1	シネマスコープサイズのときに選びます。
	ズーム2	ビスタサイズのときに選びます。
	ストレッチ	4:3の画像を16:9に引き伸ばすときに選びます。(ノンリニア)
	REAL	入力信号をそのままの大きさで表示します。
パスワードロック		パスワードロック機能のモード切り換えおよびパスワードの設定、解除に使います(29ページ参照)。
メニュー位置	1.(左上), 2.(右下)	メニューの表示位置を切り換えます。
シネマモード	AUTO	フィルム映像信号を入力したとき、自動的にフィルムモード処理を行います。
	OFF	フィルムモード処理は行いません。
信号判別	AUTO, NTSC, PAL他	ビデオ信号のカラー方式を選択します(通常はAUTOに設定します)。
セットアップ	AUTO	通常はAUTOに設定します。言語選択が日本語で、480i、480p、TV60の場合、OFFになります。
	OFF	国内盤のLDやDVDの映像を見るときに選択します。
	3.75%, 7.5%	米国盤のLDやDVDの映像を見るときに選択します。
SCART入力	OFF, ON	欧州などで使用されているSCART端子付の機器と接続するときはONにします。通常はOFFを選択します。
言語選択	10言語	メニュー画面などの画面上に表示される言語を選びます。
RESET ALL	OK ↵	ENTERボタンを押すと、メニュー画面の設定をすべて工場出荷時の値に戻します(言語選択、パスワードロックを除く)。

- 信号判別の設定を「AUTO」にしているとき、正常に色がつかないことがあります。そのときは、入力信号に合わせた方式に設定してください。
- SCART入力の設定を「ON」にしているとき、通常のコンピュータ信号は映りません。
- RESET ALLには、少し時間がかかることがあります。

信号設定メニュー

※外部信号が入力されていないと調整はできません。

設定項目	設定	はたらき
水平位置	0〜999 *	映像の表示位置を左右に動かします。
垂直位置	0〜999 *	映像の表示位置を上下に動かします。
ファイン	0〜31	映像にちらつきやぼけが出たときに、画面を見ながら調整します。
分周比	0〜9999 *	映像に幅広のしま模様が出たときに、画面を見ながら調整します。
COMPUTER入力	AUTO	自動的に最適な値に設定します。
	RGB	R,G,B出力端子を持つハイビジョン機器と接続するときは、こちらに合わせます。
	YC_BC_R/YP_BP_R	Y、C_B、C_Rコンポーネントビデオ出力端子を持つDVDプレーヤーまたはY、P_B、P_Rコンポーネントビデオ出力端子を持つハイビジョンデジタルチューナーなどと接続するときに設定します。DVDプレーヤーなどで480p(525p)信号を入力するときは、こちらに合わせます。
オーバースキャン	100〜90%	LDやDVDなどの映像を見るときの投射映像の表示領域を調整します。
上部曲がり補正	OFF	上部曲がりに対する調整を行いません。
	ON↵	画面に上部曲がりがおこったときに調整します。
詳細設定	OK↵	ENTERボタンを押すと詳細設定メニューが表示されます。

XGA60		
信号設定		AV MEMORY 1
水平位置	◀ 0 ▶	
垂直位置	◀ 0 ▶	
ファイン	◀ 0 ▶	
分周比	◀ 0 ▶	
COMPUTER入力	◀ 100% ▶	
オーバースキャン	◀ RGB ▶	
上部曲がり補正	◀ ON↵ ▶	
詳細設定	OK↵	

- *マークのある項目は他の設定によって設定範囲が変化します。
- ビデオ信号などでオーバースキャン率を大きく設定すると画面にノイズが表示されることがあります。その場合は設定値を下げてください。
- VIDEOまたはS-VIDEO入力時、一部の信号では、オーバースキャンの調整はできません。
- 画角設定でREALを選択しているとき、オーバースキャンの調整はできません。

詳細設定メニュー

※外部信号が入力されていないと調整はできません。通常は、さわらないでください。

設定項目	設定	はたらき
クランプ位置	1〜255 *	投写画面が白くつぶれたり黒くつぶれたりするときに調整します。
クランプ幅	1〜63 *	投写画面が黒くつぶれるときに調整します。
垂直同期	AUTO	通常はこちらに合わせます。
	OFF	映像の動きが不自然なときに合わせます。
LPF	ON, OFF	プログレッシブフィルターをはたらかせるかどうかを選択します。通常はOFFを選択します。
SHUTTER(U)	0〜32	画面の上に黒幕を出す場合に調整します。
SHUTTER(L)	0〜32	画面の下に黒幕を出す場合に調整します。
SHUTTER(LS)	0〜95	画面の左に黒幕を出す場合に調整します。
SHUTTER(RS)	0〜95	画面の右に黒幕を出す場合に調整します。

詳細設定	
クランプ位置	◀ 1 ▶
クランプ幅	◀ 1 ▶
垂直同期	◀ AUTO ▶
LPF	◀ OFF ▶
SHUTTER(U)	◀ 0 ▶
SHUTTER(L)	◀ 0 ▶
SHUTTER(LS)	◀ 0 ▶
SHUTTER(RS)	◀ 0 ▶

- *マークのある項目は他の設定によって設定範囲が変化します。

LPF(プログレッシブフィルター)について

ご使用になるDVDプレーヤーによっては画面の縦、横方向に薄いスジ状のノイズが現れる場合があります。この場合、LPFをONにすることによりプログレッシブフィルターがはたらき、これらのスジ状のノイズを軽減することができます。ただし、映像の鮮鋭度は弱くなります。

映像を調整する

映像の明るさを調整する(コントラスト、ブライト)

メニューを使って映像の明るさに関する調整をします。

1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは23ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押す

● 「コントラスト」または「ブライト」を選びます。

コントラスト	◀	0 ▶
ブライト	◀	0 ▶

3 ◀、▶ボタンを押して設定する

コントラスト........ ▶ボタンを押すごとに映像が明るくメリハリが出ます。◀ボタンを押すごとに映像が暗くしっとりとします。
ブライト .... ▶ボタンを押すごとに映像が明るくなります。◀ボタンを押すごとに映像が暗くなります。

白の色合いを調整する(色温度の詳細設定)

メニューを使って色温度(白の色合い)に関する調整をします。

1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは23ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押して「色温度」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「USER↵ 」を選ぶ

4 ENTERボタンを押す

● 色温度の詳細メニューが表示されます。

色温度-USER		
コントラスト R	◀	0 ▶
コントラスト G	◀	0 ▶
コントラスト B	◀	0 ▶
ブライト R	◀	0 ▶
ブライト G	◀	0 ▶
ブライト B	◀	0 ▶

5 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

6 ◀、▶ボタンを押して設定する

7 操作5、6を繰り返して設定する

8 MENUボタンを3回押す

色温度について

同じ白色といっても、いろいろの程度があります。白さの程度を表す方法のひとつに色温度があります。色温度の低い白色は赤みがかった白色となり、色温度の高い白色は青みがかった白色となります。たとえば、下記のように設定することで色温度を設定することが可能です。
色温度を高くするには、コントラストB(青)の数値を大きく、コントラストR(赤)の数値を小さく設定します。
色温度を低くするには、コントラストB(青)の数値を小さく、コントラストR(赤)の数値を大きく設定します。

● コントラストR、G、Bをすべてマイナスに設定すると、画質メニューのコントラストの設定を最大にしても、本来の明るさが出なくなりますので注意してください。

色を調整する(色の濃さ、色合い)

メニューを使って映像の色に関する調整をします。

1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは23ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押す

● 「色の濃さ」または「色合い」を選びます。

色の濃さ	◀	0 ▶
色合い	◀	0 ▶

3 ◀、▶ボタンを押して調整する

色の濃さ .... ▶ ボタンを押すごとに色が濃くなります。◀ ボタンを押すごとに色が薄くなります。
色合い .... ▶ボタンを押すごとに肌色が緑がかります。◀ボタンを押すごとに肌色が紫がかります。

● 「色合い」は、ビデオ入力時のみ表示されます。
● 「色合い」は、NTSC、4.43NTSC時のみはたらきます。
● 「色の濃さ」は、信号の種類によって、選択できないことがあります。

映像をくっきりさせたり、ソフトにする(シャープネス)

メニューを使って映像の鮮鋭度に関する調整をします。

1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは23ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押して「シャープネス」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して調整する

● 信号の種類によって、選択できないことがあります。

明るさの変化の割合を調整する(ガンマモードの詳細設定)

メニューを使ってガンマモードに関する調整をします。

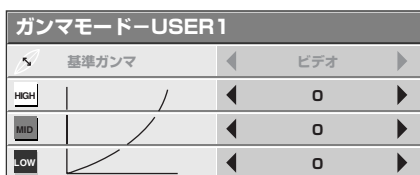
1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは23ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押して「ガンマモード」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「USER1 ↵ 」または「USER2 ↵ 」を選ぶ

4 ENTERボタンを押す

● ガンマモードの詳細メニューが表示されます。

ガンマモードーUSER1			
基準ガンマ	◀	ビデオ	▶
HIGH	◀	0	▶
MID	◀	0	▶
LOW	◀	0	▶

5 ▲、▼ボタンを押して基準ガンマを選ぶ

6 ◀、▶ボタンを押して基準となるガンマカーブを選ぶ

7 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

HIGH　明るいシーンの階調を調整します。
MID　中間的な明るさのシーンの階調を調整します。
LOW　暗いシーンの階調を調整します。

8 ◀、▶ボタンを押して設定する

9 操作 7 、8 を繰り返して設定する

● 映像によっては、変化がわかりにくいことがあります。

AVメモリー

本機は、画質メニューの設定を各入力端子ごとに、最大3種類まで記録することができます。

設定を記録するには

1 設定を記録したいAV MEMORYボタン(M1、M2またはM3)を押す

2 画質メニューの項目を設定する

● 設定した内容が自動的に記録されます。
● リモコンの画質調整ボタンを使って設定しても有効です。

記録した設定の画質にするには

1 設定を記録したAV MEMORYボタンを押す

● 設定した画質の映像になります。

● 入力の切り換え時には、自動的に前回選択したAVメモリーが選択されます。
● オプションメニューのRESET ALLを選択すると、AVメモリーの設定はすべてクリアされます。

映像を調整する(つづき)

コンピュータ映像の調整

本機は、コンピュータからの映像の信号に合わせて自動的に適切な信号形式に設定しますが、コンピュータの種類によっては、正しく投写できない場合があります。そのときは、AUTO POSITIONボタンを押してください(21ページ参照)。それでも正しく投写されないときは、メニュー画面を使って投写されるコンピュータ映像を調整してください。

メニュー画面を使ったコンピュータ映像の調整のしかた

次のような症状のときは、以下のように調整してください。

- **投写画面が左右にずれる**
  信号設定メニューの水平位置を調整します。◀ボタンを押すごとに映像が右にずれます。▶ボタンを押すごとに映像が左にずれます。
- **投写画面が上下にずれる**
  信号設定メニューの垂直位置を調整します。◀ボタンを押すごとに映像が下にずれます。▶ボタンを押すごとに映像が上にずれます。
- **投写画面がちらつく、ぼける**
  信号設定メニューのファインを調整します。
- **幅広のしま模様が出る**
  信号設定メニューの分周比を調整します。
- **画面が白く(または黒く)つぶれる**
  信号設定メニューの詳細メニューの中のクランプ位置またはクランプ幅を調整します。
- **画面の左右にノイズなどが出る**
  信号設定メニューの中の詳細メニューのSHUTTER(LS)またはSHUTTER(RS)を調整します。
- **画面の上下にノイズなどが出る**
  信号設定メニューの中の詳細メニューのSHUTTER(U)またはSHUTTER(L)を調整します。
- **画面に上部曲がりがおこる**
  信号設定メニューの上部曲がり補正の設定を変更します。設定を「ON↵」にしてENTERボタンを押し、「開始」および「終了」の値を調整して最も上部曲がりを少なくします。
- **映像の動きが不自然**
  信号設定メニューの中の詳細メニューの垂直同期を調整します。通常は「AUTO」に設定してください。
  ※ 信号設定メニューの中の詳細メニューの設定は通常、変更しないでください。

簡単な画面位置調整のしかた(AUTO POSITIONボタンで調整できない場合)

水平位置の調整:

1 水平位置を調整して映像の左端を合わせ、分周比を調整して右端を合わせる。

2 操作 1 を繰り返し、水平位置の調整を行う。

垂直位置の調整:

3 垂直位置を調整して映像の上端を合わせる。

パスワードを設定する

本機はパスワードロック機能により、お子さまによる誤操作防止および特定者以外による操作を制限することなどができます。

映像表示

電源を入れたとき、起動画面（スプラッシュ画面）が表示されたままになります。パスワードを入力することにより、通常の画面に切り換わります。

キー操作

本体の電源ボタン以外のボタン操作ができなくなります（リモコンのボタン操作はできます）。お子様による誤操作防止や特定者以外による操作の制限ができます。

パスワードロックの設定のしかた

1 オプションメニューを表示させる(23ページ参照)

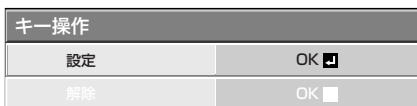
2 ▲または▼ボタンを押してパスワードロックを選択する

3 ◀または▶ボタンを押してモード（映像表示またはキー操作）を切り換える

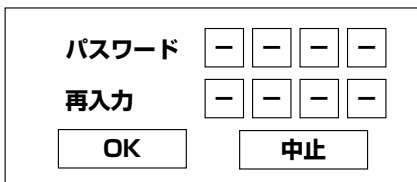
● すでにパスワードが設定されているときは、モードは切り換わりません。そのときは、ENTERボタンを押して、パスワードロック機能を解除してから設定し直してください。

4 ENTERボタンを押す

● パスワードロック画面（設定用）が表示されます。

キー操作	
設定	OK
解除	OK

● すでにパスワードが設定されているときは、パスワードロック機能を解除してから設定し直してください。

5 ENTERボタンを押す

● パスワード入力画面が表示されます。

6 ▲または▼ボタンを押して0〜9を選択する

7 ▶ボタンを押す

● 次の桁の設定ができるようになります

8 操作6、7を繰り返してパスワード（4桁）を設定する

9 同様に再入力欄にパスワードと同じ数字を設定する

10 ▶ボタンを押してOKを選択してからENTERボタンを押す

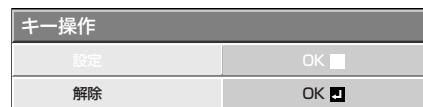
● 再入力欄の数字とパスワードが一致しない場合は、エラーメッセージが表示されます。

● パスワード設定を取り消したいときは、▶ボタンを押して中止を選択してからENTERボタンを押します。またはMENUボタンを押してパスワード入力画面を閉じます。

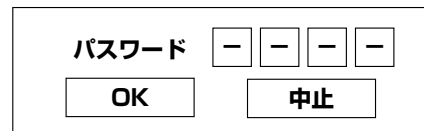
パスワードロックの解除のしかた

1 オプションメニューを表示させる(23ページ参照)

2 ▲または▼ボタンを押してパスワードロックを選択する

3 ENTERボタンを押す

● パスワードロック画面（解除用）が表示されます。

4 ENTERボタンを押す

● パスワード入力画面が表示されます。

5 ▲または▼ボタンを押して0〜9を選択する

6 ▶ボタンを押す

● 次の桁の設定ができるようになります。

7 操作5、6を繰り返してパスワード（4桁）を設定する

8 ▶ボタンを押してOKを選択してからENTERボタンを押す

● 誤ったパスワードを入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。

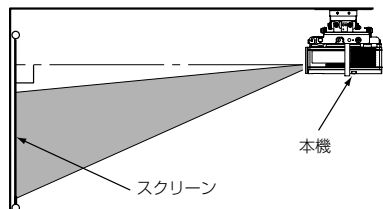
● パスワード解除を取り消したいときは、▶ボタンを押して中止を選択してからENTERボタンを押します。またはMENUボタンを押してパスワード入力画面を閉じます。

パスワードを忘れたときは

本体操作パネルのMENUボタンおよびENTERボタンを同時に押して、パスワードを解除してください。

設置工事を依頼するときは

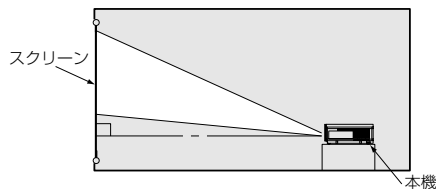
天吊りして正面から映像を見る場合

天吊りにする場合は、別売の天井用取付金具(高天井用ポール、天井用取り付け金具ベースなど：専用品)(37ページ参照)を使用してください。また、設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは販売店にご相談ください。

- 当社製以外の天吊り金具ならびに天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。
- 天吊りの場合、設置メニューの反転表示を「上下左右」にしてください。くわしくは24ページをごらんください。
- ブレーカなどを設置するよう、工事業者に依頼してください。ご使用にならないときは、必ずブレーカなどで主電源をおとしておいてください。
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。
- 本体の排気口から温風が出ますので、火災報知器の近くに設置しないでください。

寸法図(参考)

単位はmm

半透過性のスクリーンに投写し、裏側から映像を見る場合

設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは販売店にご相談ください。

- 裏側から映像を見る場合、設置メニューの反転表示を「左右」にしてください。くわしくは24ページをごらんください。

お掃除のしかた

お手入れをする前には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
本体やレンズを掃除する場合、可燃性の溶剤(ベンジン、シンナーなど)やスプレーを使用しないでください。
ランプ点灯の際、可燃成分に引火し、火災や故障の原因となることがあります。

本体をきれいにする

柔らかい布で軽く汚れをふき取る

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼって汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 殺虫剤をかけたり、ベンジンやシンナーなどで拭いたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させると、変質したり、塗料がはげる原因となります。

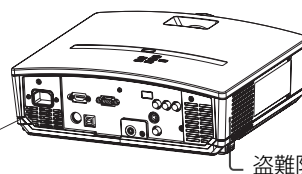
レンズをきれいにする

市販のレンズ手入れ用品(ブローワーブラシなど)でほこりや汚れを取る

- レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

こんな機能もあります

盗難防止用ロックについて

盗難防止用ロックは、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、以下の通りです。
日本ポラデジタル株式会社
104-0032　東京都中央区八丁堀1丁目5番2号　はごろもビル
TEL：03-3537-1070
FAX：03-3537-1071

フィルターについて

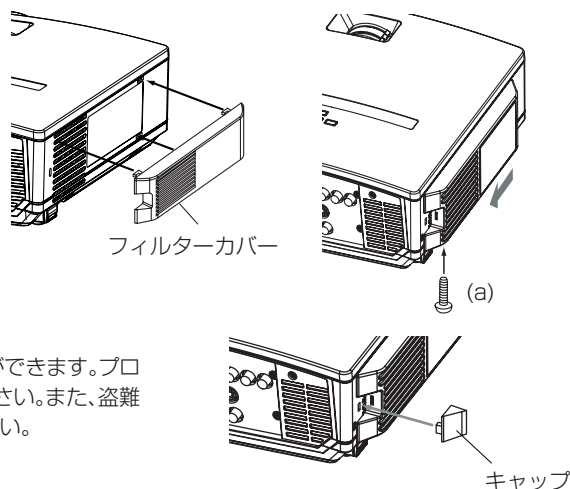
本機には、ほこり防止のためのフィルターカバー(フィルター)が付属されています。ほこりが多い場所では、フィルターカバーを取り付けて、ご使用ください。

フィルターカバーの取り付けかた

フィルターカバーをプロジェクターに取り付ける前には必ず電源プラグをコンセントより抜いてください。

1　フィルターカバーのツメ部3ヶ所をプロジェクター本体にはめ込む
2　フィルターカバーを矢印の方向に押す
- このとき、フィルターカバーを強く押すとツメ部を破損する場合がありますので、ご注意ください。

3　付属のネジ(a)をしっかりと締付ける

- 専用フィルター以外は使用しないでください。
- フィルターを取り付けることにより、プロジェクター側面からの光を遮ることができます。プロジェクター側面からの光が気になる方は、フィルターを取り付けてご使用ください。また、盗難防止用ロック穴からの光も気になる方は、付属のキャップを取り付けてください。

フィルター掃除のしかた

お手入れをする前には必ずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントより抜いてください。

- フィルターのお手入れはこまめに行ってください（1ヶ月に一度程度)。吸気口にあるフィルターにほこりがたまるとプロジェクター本体内部の温度が異常に高くなり、内部部品を傷めたり、パネルの寿命に影響を与えるなどして故障の原因となることがあります。
- 本体内部の温度が異常に高くなると、内部部品保護のため電源が切れて光源ランプが消灯したスタンバイ状態になることがあります。

吸気フィルターの掃除のしかた

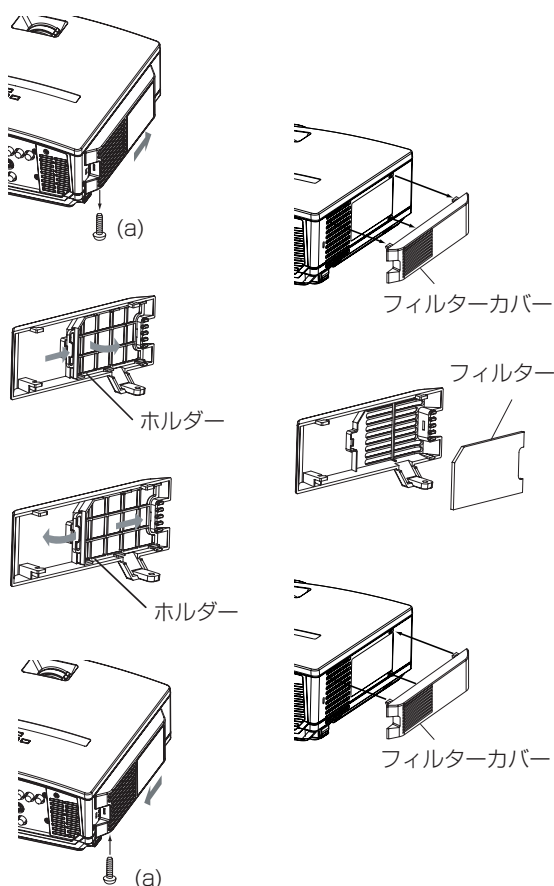
1　フィルターカバーのネジ(a)をはずす
- ネジをなくさないでください。

2　フィルターカバーを矢印の方向に引く
3　フィルターカバーのツメ部3ヶ所をプロジェクター本体から抜いて取り外す
- このとき、フィルターカバーを強く引っ張るとツメ部を破損する場合がありますので、ご注意ください。

4　フィルターをおさえているホルダーのツメ部を矢印方向に押しながらホルダーを取り外す
5　フィルターをフィルターカバーより取り外す
6　フィルターに付着しているごみやほこりを掃除機などで吸い取る
- 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤で洗って、水でよく洗い流してください。洗ったあとは、充分に乾燥させてください。

7　フィルターをフィルターカバーに取り付ける
- このとき、フィルターがずれていないか確認してください。

8　ホルダーを奥まで差し込み、矢印方向に押しながら取り付ける
9　フィルターカバーのツメ部3ヶ所をプロジェクター本体にはめ込む
10　フィルターカバーを矢印の方向に押す
- このとき、フィルターカバーを強く押すとツメ部を破損する場合がありますので、ご注意ください。

11　フィルターカバーのネジ(a)をしっかりと締付ける

吸気フィルターを掃除する場合、可燃性のエアクリーナーなどは絶対に使用しないでください。
ランプ点灯の際、可燃成分に引火し、火災や故障の原因となることがあります。

光源ランプを交換する

本機には、DMDの映像を投写するために光源ランプが内蔵されています。
本光源ランプは消耗部品であり、使用中に切れたり、輝度が低下する場合があります。このような場合、早めに新しい光源ランプと交換してください。光源ランプは、必ず別売のLVP-HC1100専用の光源ランプをご使用ください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機修理窓口･ご相談窓口にご依頼ください。

LVP-HC1100 用光源ランプ
形名：VLT-HC910LP

⚠警告

- 光源ランプを交換する前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントから抜かずに交換を行うと感電の原因となることがあります。
- 光源ランプの固定ネジを本機内部に落とさないようにしてください。また、本機内部に金属片や燃えやすいものなどを入れないでください。内部に異物が入ったまま使うと感電や火災の原因となります。入ったものがとれないときは、異物の回収を三菱電機修理窓口にご依頼ください。
- 光源ランプは確実に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、光源ランプは点灯しません。また、火災の原因にもなります。
- 取り出した光源ランプは決して振ったり目の上より高い位置にもっていかないでください。ガラス片が飛び散ったり落下して目に入るなどのけがの恐れがあります。
- 使用した直後、ランプカバーは高温になっていますので光源ランプの交換はしないでください。やけどなどの原因となります。電源ボタンで電源を切り、光源ランプ消灯後、冷却のための吸、排気ファンが止まるまで約1分間お待ちください。そして電源プラグをコンセントから抜き1時間以上たって、充分に冷えてから交換をはじめてください。
- 高圧水銀ランプが破裂した場合、本体内部にガラス片が散乱している可能性があります。清掃やランプ交換をお客様ご自身でなされる場合、必ず本体を裏返しにし、光源ランプの取っ手を持って行ってください。ガラス片でけがの恐れがあります。三菱電機修理窓口に光源ランプの交換と内部の点検を依頼することをおすすめします。

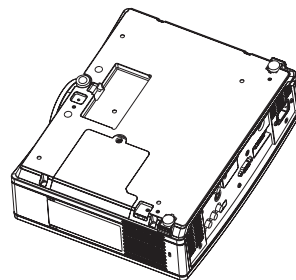
⚠注意

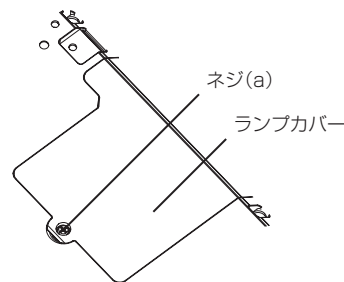
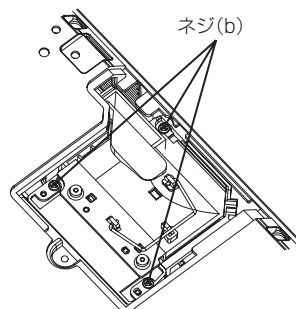
本機は光源ランプの使用時間が2250時間※1を超えるとSTATUSインジケーターが点滅し、パワーオンするたびに画面上に1分間メッセージが表示されます。2850時間※1を超えると以後15時間※1おきに画面上に1分間ランプ交換メッセージ(LAMP EXCHANGE)が表示されます。また、光源ランプの使用時間が3000時間※1※2を超えると自動的に電源が切れ、光源ランプを交換して、使用時間をリセットするまで使用することができなくなります。

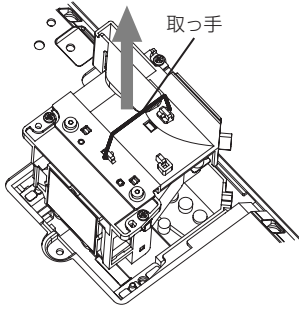
- 光源ランプは、交換以外の目的では取出さないでください。故障の原因となることがあります。
- 本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで大きな音を併なって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。また、高圧水銀ランプの破裂や不点灯に至るまでの時間は、高圧水銀ランプの個体差や使用条件によって大きな差があり、使用開始後すぐに破裂することがあります。
- 交換時期を超えてお使いになると破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出た場合、光源ランプが正常に点灯している状態でも速やかに新しい光源ランプと交換してください。
- 高圧水銀ランプが破裂したとき、ランプBOX部の中や外にガラスの破片が飛び散ったり、光源ランプ内部のガスが本体の排気口から出たりすることがあります(白いガス)。高圧水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれています。吸い込んだり、目に入ったり、口に入ったりしないようご注意ください。万一、吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合には、速やかに医師にご相談ください。
- 使用済みのランプは、自治体で定められた条例、もしくは規則に従って廃棄してください。
- 光源ランプは専用のVLT-HC910LPをご使用ください。他のランプを使用されると故障の原因となることがあります。

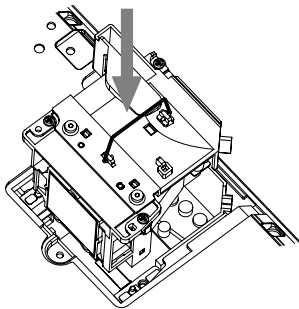
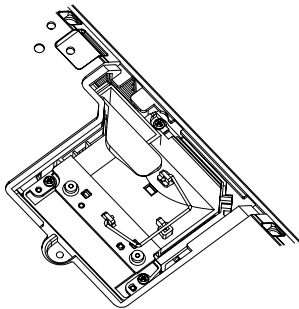
※1 ランプモードを「低」にした場合の時間(「標準」にした場合の時間は短くなります)。
※2 ランプモードを「低」にした場合の時間(「標準」にした場合の時間は2000時間)。

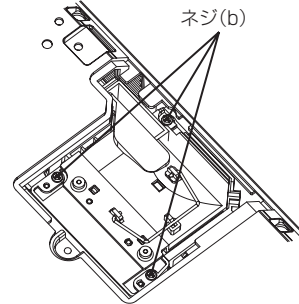
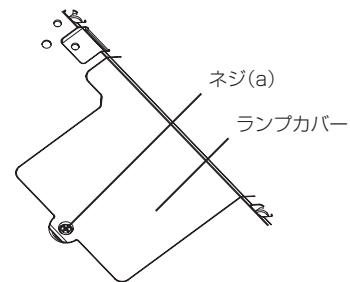
ランプ交換のしかた

1 本体を裏返す

- 製品が動かないように安定させてから作業してください。

2 ランプカバー止めネジ(a)をプラスドライバーで回してゆるめ、ランプカバーを本体から取りはずす

3 ランプBOXの固定ネジ3本(b)をプラスドライバーで回してゆるめる

4 取っ手を引きあげる

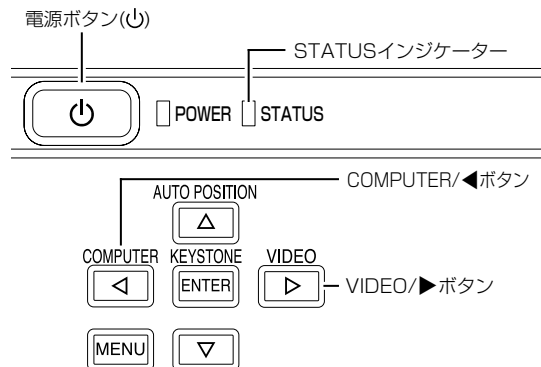
5 取っ手を持って、ランプを本体から抜き出す

● ランプBOXを本体から抜き出す際は、ゆっくりと行ってください。電球部が破裂している場合は急に抜き出しますとガラス片が飛び散るおそれがあります。
● 取り出した光源ランプに水などをかけたり、お子さまの手の届くところや燃えやすい物の近くに置かないでください。やけどやけがの原因となります。

6 新しいランプの取っ手を持って、本体の穴の形状にランプ形状の方向を合わせて、ランプを奥にあたるまで差し込む

7 取っ手を収納部に押し込む

● 取っ手が確実にロックされていることを確認してください。

8 固定ネジ3本(b)をプラスドライバーで回してしっかりと締める

9 ランプカバーを本体に差し込み、ランプカバー止めネジ(a)をプラスドライバーで回してしっかりと締める

● ランプカバーがはずれているとPOWERインジケーターが赤と緑で点滅し、電源が入りません。

ランプ使用時間をリセットする

10 電源プラグをコンセントに接続する

11 本体操作パネルの◀、▶ボタン、および電源ボタン(⏻)を同時に押す

● 3つのボタンが同時に押されない場合、リセットされないことがあります。
● 正しくリセットされた場合、STATUSインジケーターが赤色に2回点滅します。点滅したことを確認してください。
● ランプ使用時間が3000時間※を超えていた場合、ランプを交換しても使用時間をリセットするまでは、光源ランプを点灯させることはできません。
● ランプを交換をしていないときは使用時間をリセットしないでください。
※ ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は2000時間）。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお調べになってください。それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機修理窓口･ご相談窓口にご連絡ください。

映像が映らない

<table>
<tr><th>現象</th><th>確認/処置</th></tr>
<tr><td>電源が入らない</td><td>● インジケーターの点灯のしかたを確認する。
<table>
<tr><th>POWER</th><th>STATUS</th><th>処置</th></tr>
<tr><td>消灯</td><td>消灯</td><td>● 電源コードを本機に接続する。
● 電源プラグをコンセントに接続する。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">赤点灯</td><td>消灯</td><td>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 本体が冷めているのを確認する。
3. 電源プラグをコンセントに接続する。
4. 電源ボタンを押す。</td></tr>
<tr><td>オレンジ点滅</td><td>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。
● 暖房の吹き出しが、排気口にかからないようにする。
● フィルターカバーを取り付けている場合は、フィルターが汚れていないか確認する。
→フィルターの手入れをする(31ページ参照)。</td></tr>
<tr><td>緑点滅</td><td>● STATUSインジケーターの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。
● ファンの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、次に電源プラグをコンセントに接続したとき、約1分間点灯できなくなる場合があります。
● 光源ランプを消灯したあと、約1分間は再点灯できません。
● 数回電源ボタンを押す。</td></tr>
<tr><td>赤点灯</td><td>● 光源ランプを交換する。(光源ランプの寿命に達しています。)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">赤/緑点滅</td><td>消灯</td><td>● 裏面のランプカバーを取り付ける。</td></tr>
<tr><td>点灯
または
点滅</td><td>● 電源プラグをコンセントから抜き、販売店または三菱電機修理窓口・ご相談窓口にご相談ください。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>映像が映らない</td><td>● レンズキャップをはずす。
● ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
● まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってからもう一度点灯させてください。
● 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、もう一度点灯させてください。
● ランプカバーが閉まっているか確認してください(33ページ参照)。
● オプションメニューのSCART入力の設定を「OFF」にしてください。
● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認してください。
● 延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることを確認してください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルとRGB信号増幅器を合わせて使用してください。
● 接続している映像機器の取扱説明書の接続方法を確認してください。</td></tr>
<tr><td>映像が突然消える</td><td>● 吸気口、排気口がふさがれているときになることがあります。
(このときSTATUSインジケーターはオレンジ点滅しています)
→吸気口、排気口をふさいでいる物を取り除いてから以下の操作を行う。
1. 吸、排気ファンが止まるまで待つ (STATUSインジケーターが消灯するまで待つ)。
2. 電源プラグをコンセントから抜く。
3. 約10分ほど待つ。
4. 電源プラグをコンセントに接続する。
5. 電源ボタンを入れる。
● STATUSインジケーターが赤く点灯しているときは、ランプ交換の表示です。光源ランプを交換してください。</td></tr>
<tr><td>「入力信号がありません」が表示される</td><td>● 接続した機器の電源を入れる。または、接続した機器が故障していないか確認する。
● 外部機器の信号が出力されているか確認する。(特にノートタイプのコンピュータの場合)
● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
● 外部機器と接続している端子が正しい端子に接続されているか確認する。
● 接続した機器の入力が正しく選ばれているか確認する。
● RGB接続時に延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることを確認してください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルとRGB信号増幅器を合わせて使用してください。</td></tr>
</table>

映像がおかしい

現象	確認/処置
映像がゆれる 画面位置がおかしい	● 外部機器と接続しているケーブルが断線しかかっていないか確認する。 ● 外部機器と接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● AUTO POSITIONボタンを押す。 ● コンピュータの種類によっては、まれに規格外の信号が出力される場合があるので信号設定メニューで調整する(28ページ参照)。
映像がひずむ	● 本機と投写面が直角になるように調整する(11ページ参照)。
映像が暗い	● 画質メニューのブライトの調整をする(26ページ参照)。 ● ランプを交換する(32ページ参照)。
映像がぼやける	● フォーカスを合わせる。(16、20ページ参照)　● レンズをきれいに拭く。 ● リモコンの◀、または▶ボタンを押してちらつきをなくす。 ● 画質メニューのブライトおよびコントラストの調整をする(26ページ参照)。 ● 本機と投写面が直角になるように調整する(11ページ参照)。
映像に光る点が見える 映像に黒い点が見える	● DLP®プロジェクター特有の現象です。故障ではありません。 （一部、常時点灯または常時不点灯の画素が存在する場合がありますが、故障ではありません。99.99%以上は有効な画素数です。）
映像に細かい縞模様が見える	● スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。スクリーンを交換するか本機のフォーカスを少しずらしてみてください。
映像が乱れる	● 外部機器との接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● 妨害電波を発信している機器から遠ざける。 ● 入力信号によっては、台形補正を行うと画像が正常に表示されない場合がありますが、故障ではありません。この場合は、台形補正量が少なくなるように再調整してご使用ください。
色合いがおかしい	● 信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定が正しく設定されているか確認する(25ページ参照)。 ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
コンピュータの動画部分だけが表示できない	● コンピュータの問題です。コンピュータメーカーにお問い合わせください。
映像がにじむ	● 台形補正を使用すると、映像によっては画像や文字がにじんで見えることがあります。 このような場合、台形補正を使用せずにお使いください。

その他

現象	確認/処置
排気口から温風が出る	● 本機内部を冷却して出てくる温風です。熱く感じることがありますが故障ではありません。
メニュー設定ができない	● ノイズなどの影響で、本機内部のマイコンが誤動作していることがあります。 →一度電源プラグをコンセントから抜き、10分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続する。
画面上に「温度異常！！」が表示(点滅)がされる	● 周辺温度が高くなると表示されます。高温状態が続くと、光源ランプが消えます。 →周辺温度が高くなる原因を取り除く。 ● 吸気口、排気口をふさいでいると表示されることがあります。その状態を続けると光源ランプが消えます。 →吸気口、排気口をふさいでいるものを取り除く。
⃠マークが表示される	● 動作しない操作を行ったときに表示されます。故障ではありません。
リモコンが効かない・効きにくい	● 電池が消耗してないか確認する。 ● リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの光が直接当たっていないか確認する(10ページ参照)。 ● リモコンの操作範囲から外れていないか確認する(10ページ参照)。
本体操作パネルのボタン(電源ボタンを除く)がはたらかない。	● オプションメニューのパスワードロック機能で「キー操作」が設定されてます。 →設定を解除する(29ページ参照)。
異音がする	● カラーホイールが高速回転しているため、まれに金属音がすることがありますが故障ではありません。

ランプ交換のあとで、以下の症状が出たときは、まず、次のことをお調べください。

現象	確認/処置
電源が入らない	● 裏面のランプカバーをきちんと取り付ける。 ● ランプ使用時間をリセットする(33ページ参照)。
STATUSインジケーターが点滅する	● ランプ使用時間をリセットする(33ページ参照)。

索引

端子について

SERIAL端子（8ピン）

PIN No.	名　　称	I/O
1	TXD	入力
2	–	–
3	–	–
4	GND	–
5	–	–
6	–	–
7	RXD	出力
8	–	–

COMPUTER IN/COMPONENT VIDEO IN端子（ミニD-Sub 15ピン）

PIN No.	仕　様	PIN No.	仕　様
1	R(RED)/PR/CR	9	DDC 5V
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/PB/CB	11	GND
4	GND	12	DDC Data
5	GND	13	HD
6	GND	14	VD
7	GND	15	DDC Clock
8	GND		

HDMI端子

PIN No.	仕　様	PIN No.	仕　様	PIN No.	仕　様
1	TMDS Data2+	8	TMDS Data02 Shield	15	SCL
2	TMDS Data2+ Shield	9	TMDS Data0-	16	SDA
3	TMDS Data2-	10	TMDS Clock+	17	DDC Ground
4	TMDS Data1+	11	TMDS Clock Shield	18	+5 V Power
5	TMDS Data1+ Shield	12	TMDS Clock -	19	Hot Plug Detect
6	TMDS Data1-	13	–		
7	TMDS Data0+	14	–		

仕様 （仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。予めご了承ください。）

形式			LVP-HC1100
表示方式			DLP®(単板DMD)
光学方式			時分割色分離･合成方式
表示素子	サイズ		0.62形DMD×1(枚)､アスペクト比16:9
	画素数		921,600画素(1280×720)×1枚
投写レンズ	焦点距離		f=23～27.6mm
	F値		F2.4～F2.6
光源			高圧水銀ランプ　200W
画面サイズ(投写距離)			最小40形～最大275形(投写距離1.3～10m)
表示可能 解像度	コンピュータ信号入力時		最大入力解像度:1280×1024ドット(圧縮表示) パネル表示解像度:1280×720ドット
	ビデオ信号入力時		表示可能信号:NTSC､4.43NTSC､PAL､SECAM､PAL-N､PAL-M､PAL-60 NTSC水平解像度:600TV本(S端子入力時)
	コンポーネントビデオ信号入力時		表示可能信号:480i, 480p, 576i, 576p, 720p, 1080i パネル表示解像度:1280×720ドット
コンピュータ 入出力	コンピュータ入力	映像入力	ミニD-Sub15ピン(RGBまたはY/P_B/P_RまたはY/C_B/C_R信号対応)､1系統 ・RGB:0.7Vp-p 75Ω/1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) ・Y:1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) ・P_BP_R/C_BC_R:0.7Vp-p 75Ω ・HD:TTLレベル(負または正極性) ・VD:TTLレベル(負または正極性)
HDMI入出力	HDMI 入力	映像入力	HDMI、1 系統
ビデオ 入出力	ビデオ入力	映像入力	RCA 端子、1 系統 ・1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) S 端子、1 系統 ・Y：1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) ・C：0.286Vp-p 75Ω(バースト信号)
	コンポーネント ビデオ入力	映像入力	RCA 端子×3(Y、C_B/P_B、C_R/P_R)、1 系統 ・Y:1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) ・P_BP_R/C_BC_R:0.7Vp-p 75Ω
制御入出力 / その他		SERIAL	8ピン､RS-232C準拠:1系統､プロジェクター本体制御用
		TRIGGER	3.5mm ステレオミニジャック:1系統､12V　最大200mA
使用温度(使用湿度)			使用温度範囲：5～35℃(使用湿度範囲：30～90%)
電源			AC100V、50/60Hz
消費電力			2.9A　280W (スタンバイ時 8W：参考値)
外形寸法			W(幅)310mm×H(高さ)100mm×D(奥行き)245mm　※本体突起部含まず
質量			3.0kg

「JIS C 61000-3-2適合品」
：JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

別売品

光源ランプ	(形名 VLT-HC910LP)
高天井用ポール	(形名 BR-1P)
天井用取付金具ベース	(形名 BR-1※)
天井用取付けアダプター	(形名 BR-HC900JS※)
シネマフィルター	(形名 CF1)

※ BR-1､BR-HC900JSはセットでご使用ください。
単独では天井へ取り付けられません。

仕様(つづき)

接続できる信号の種類

信号表示	解像度 (H x V)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	通常表示*1 (H x V)	リアル表示 (水平 x 垂直)	
TV60, 480i(525i)	–	15.73	59.94	1280×720	–	
TV50, 576i(625i)	–	15.63	50.00	1280×720	–	
1080i 60 (1125i 60)	–	33.75	60.00	1280×720	–	*2
1080i 50 (1125i 50)	–	28.13	50.00	1280×720	–	*2
1080i 50a (1125i 50)	–	31.25	50.00	1280×720	–	
480p (525p)	–	31.47	59.94	1280×720	–	*2
576p (625p)	–	31.25	50.00	1280×720	–	*2
720p 60 (750p 60)	–	45.00	60.00	1280×720	–	*2
720p 50 (750p 50)	–	37.50	50.00	1280×720	–	*2
PC98	640×400	24.82	56.42	1152×720	640×400	
CGA70	640×400	31.47	70.09	1152×720	640×400	
VGA60	640×480	31.47	59.94	960×720	640×480	*2
VGA72	640×480	37.86	72.81	960×720	640×480	
VGA75	640×480	37.50	75.00	960×720	640×480	
VGA85	640×480	43.27	85.01	960×720	640×480	
SVGA56	800×600	35.16	56.25	960×720	800×600	
SVGA60	800×600	37.88	60.32	960×720	800×600	
SVGA72	800×600	48.08	72.19	960×720	800×600	
SVGA75	800×600	46.88	75.00	960×720	800×600	
SVGA85	800×600	53.67	85.06	960×720	800×600	
XGA60	1024×768	48.36	60.00	960×720	–	
XGA70	1024×768	56.48	70.07	960×720	–	
XGA75	1024×768	60.02	75.03	960×720	–	
XGA85	1024×768	68.68	85.00	960×720	–	
MAC13	640×480	35.00	66.67	960×720	640×480	
MAC16	832×624	49.72	74.55	960×720	800×600	
MAC19	1024×768	60.24	75.02	960×720	–	
HP75	1024×768	62.94	74.92	960×720	–	
SXGA60	1280×1024	60.02	63.98	900×720	–	

*1: オプションメニューの画角が「AUTO」でかつ、画質メニューのスクリーンサイズが「16:9」に設定されているとき。
*2: HDMI IN端子対応

- 本機の最大解像度は1280×720ドットです。これ以上の解像度の場合は、本来の解像度は得られません。
- SYNC ON G対応の信号は、映像が緑っぽくなることがあります(このとき、詳細設定メニューのクランプ位置またはクランプ幅を調整してください)。
- SYNC ON G対応の信号は、画面が少し揺れることがあります。
- 表に載っていない解像度と周波数のときは接続するコンピュータの解像度を変更することにより、対応できる解像度と周波数に変更できる場合があります。
- 1080iはハイビジョン信号を表します。
- ハイビジョン信号を表示しているとき、インターレス信号の構造上、画質が劣化します。
- 4線(R、G、B、CS*)出力機器および480i、576i、480p、576pの5線(R、G、B、H、V)出力機器について本機は対応していません。
- 本機は当社製ビジュアルセンター VC-2001およびRGBデコーダ D-2001には対応していません。
- TV60とTV50はそれぞれ480iと576iと等価です。VIDEO IN端子あるいはS-VIDEO IN端子から入力された場合、信号表示はTV60あるいはTV50となります。コンポーネント端子またはCOMPUTER IN/COMPONENT VIDEO IN端子から入力された場合、信号表示は480iあるいは576iとなります。

  *Composite Sync

インジケーターの見かた

本機には、内部の状態を知らせるインジケーターが2つあります。インジケーターの点灯のしかたで、どのような状態かを知ることができます。次のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、三菱電機修理窓口・ご相談センターにご連絡ください。

正常時

POWER	STATUS	状態	備考
赤点灯	消灯	電源スタンバイ状態	
	緑点滅	クーリング中	電源「入」の操作はできません。
緑点灯	緑点滅	ランプスタンバイ状態	電源「切」の操作はできません。
	緑点灯	電源「入」（通常時）	

異常時

POWER	STATUS	状態	処置
緑点灯 または 赤点灯	オレンジ点滅	本機内部が高温になっている ・吸気口または排気口をふさいでいる。 ・暖房の吹出し口など高温になる場所で使用している。	・ふさいでいる物をとる。 ・設置場所を変える。
赤点灯	緑点滅	保護回路がはたらいている または ランプが異常	・STATUSインジケーターの緑点滅が消えてから電源ボタンを押す 上記の操作を数回行っても、光源ランプが点灯しないときは、光源ランプを交換してください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機修理窓口・ご相談窓口にご依頼ください。
緑点灯	赤/緑点滅	ランプ交換表示(通算約2250時間※1使用・電源が「入」のとき)	光源ランプを交換してください。 光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機修理窓口・ご相談窓口にご依頼ください。
赤点灯	赤点滅	ランプ交換表示(通算約2250時間※1使用・電源が「切」のとき)	
	赤点灯	ランプ交換表示(通算約3000時間※1※2使用)	
赤/緑点滅	消灯	ランプカバーが開いている	ランプカバーを閉じる。
	点灯 または 点滅	故障	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または三菱電機修理窓口・ご相談窓口にご相談ください。

※1　ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は短くなります）。
※2　ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は約2000時間）。

保証とアフターサービス

■保証書(別添付)

● 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間
お買上げ日から１年間です 但し、ランプは１年以内で500時間まで

● **ランプ使用時間の確認方法**
スタンバイ状態で、▲、▼ボタンを押しながら、電源ボタン（⏻）を押したとき、STATUSインジケーターが約５秒間、緑色に点灯すれば、ランプ使用時間は500時間以内です(ランプ使用中は点灯しません)。

● **光源ランプを交換されるときは**
光源ランプは専用のVLT-HC910LPをご使用ください。他のランプを使用された場合、製品の保証を受けられないことがあります。

■補修用性能部品の最低保有期間

● 当社は、プロジェクターの補修用性能部品を、製造打切り後最低8年間保有しています。
● 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
● DMD、カラーホイールなどの光学部品、および冷却ファンは寿命部品です。長時間業務用途に使う場合は修理・交換が必要になります。このような場合はお買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

● お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

◎「故障かなと思ったら」の手順にしたがって、お調べください。
● なお、不具合があるときは、電源を切ったあと、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

◎ **保証期間中は**
修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。

◎ **保証期間が過ぎているときは**
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

◎ **修理料金は**
技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

◎ ご連絡いただきたい内容

1. 品　　名　三菱DLP®プロジェクター
2. 形　　名　LVP-HC1100
3. お買上げ日　　年　月　日
4. 故障の状況　(できるだけ具体的に)
5. ご 住 所　(付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内
（家電品）

修理・取扱いのご相談は
まず **お買上げの販売店へ**

転居や贈答品などでお買上げの販売店へ
ご依頼できない場合は

お問合わせ窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客さまからご提供いただきました個人情報を、下記のようにお取り扱いします。

1. お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事、および製品のお取り扱いに関連してお客さまよりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質やサービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客さまからご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ① 上記利用目的のために、当社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

修理窓口 電話受付：365日 24時間

北海道・東北地区

北海道全域、宮城県

東日本フロントセンター 東京都世田谷区池尻 3-10-3

フリーダイヤル	0120-56-8634
通常電話番号(携帯電話対応)	(03) 3424-1111
FAX	(03) 3424-1115
インターネット	http://www.melsc.co.jp

地域	電話番号	所在地
青森	(017) 773-8381	青森市大字野木字野尻 37-184
八戸	(0178) 28-8544	八戸市大字長苗代字下亀子谷地 6-8
盛岡	(019) 637-7454	盛岡市羽場13地割 30-11
水沢	(0197) 25-4511	奥州市水沢区卸町 2-3
秋田	(018) 865-4471	秋田市八橋三和町 19-36
横手	(0182) 32-1785	横手市卸町 3-2
大館	(0186) 42-2781	大館市餅田 2-5-44
山形	(023) 624-0018	山形市大野目 2-1-21
鶴岡	(0235) 24-6161	鶴岡市上畑町 5-4
郡山	(024) 959-6543	郡山市喜久田町卸 1-76-1
会津	(0242) 27-4426	会津若松市天寧寺町 3-7
原町	(0244) 24-2842	南相馬市原町区桜井町 1-173
いわき	(0246) 26-1822	いわき市小島町 1-2-2

関東・甲信越地区

東京都、神奈川県、千葉県、茨城県、埼玉県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県(飯田地区除く)、新潟県、静岡県

東日本フロントセンター 東京都世田谷区池尻 3-10-3

フリーダイヤル	0120-56-8634
通常電話番号(携帯電話対応)	(03) 3424-1111
FAX	(03) 3424-1115
インターネット	http://www.melsc.co.jp

関西・東海・北陸・中国・四国地区

大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県、京都府、滋賀県、愛知県、三重県、岐阜県、長野県(飯田地区)、石川県、富山県、福井県、広島県、山口県、島根県、鳥取県、岡山県、香川県、徳島県、高知県、愛媛県

西日本フロントセンター 大阪市北区大淀中 1-4-13

フリーダイヤル	0120-56-8634
通常電話番号(携帯電話対応)	(06) 6454-3901
FAX	(06) 6454-3900
インターネット	http://www.melsc.co.jp

九州地区

福岡県、佐賀県

西日本フロントセンター 大阪市北区大淀中 1-4-13

フリーダイヤル	0120-56-8634
通常電話番号(携帯電話対応)	(06) 6454-3901
FAX	(06) 6454-3900
インターネット	http://www.melsc.co.jp

地域	電話番号	所在地
長崎	(095) 834-1116	長崎市丸尾町 4-4
佐世保	(0956) 30-7740	佐世保市木原町 155-1
熊本	(096) 380-0211	熊本市石原 1-10-35
八代	(0965) 33-5173	八代市緑町 13-1
大分	(097) 558-8803	大分市向原西 1-8-1
宮崎	(0985) 56-4900	宮崎市大字赤江字飛江田 150-1
延岡	(0982) 21-3540	延岡市惣領町 25-5
鹿児島	(099) 260-2421	鹿児島市卸本町 7-17
沖縄	(098) 898-3333	宜野湾市大山 7-12-1

ご相談窓口

当社家電品の購入・取扱い方法・その他ご不明な点は

三菱電機お客さま相談センター

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

受付時間365日 24時間

■ 全国どこからでもおかけいただけるフリーコール

0120-139-365（無料）
いつも サンキュー 365日

■ 通常電話番号(携帯電話対応) (03) 3414-9655
■ FAX (03) 3413-4049

■ ご相談対応 平日 9：00～19：00
土･日･祝 9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

この製品に関する**詳細情報**や**応用例**などを、WWWサーバでもご提供しています。
www.MitsubishiElectric.co.jp/projector/index.html

● 所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

A4-PJK06A

● ご購入店などをメモしておきますとあとで役にたちます。

購入年月日

購入店名（住所）

電話番号

このDLP®プロジェクターの形名はLVP-HC1100です。

愛情点検

● 長年ご使用の場合は点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか

- 電源コード、電源プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源スイッチを入れても映像がでない。
- 映像が乱れたり、画面が異常にかけたりする。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

DLP®プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

本製品はJ-Moss(JIS C 0950 電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)に基づくグリーンマークを表示しています。
特定の化学物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE)の含有についての情報を公開しています。
詳細は、Webサイト http://www.MitsubishiElectric.co.jp/projector をご覧ください。

PRINTED IN JAPAN

京都製作所　〒617－8550 京都府長岡京市馬場図所1番地

871D423A9